

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団

## 目 次

### 令和4年度 秋田県社会福祉事業団事業報告書

	ページ
I 概況	----- 3
II 施設別の概要	
秋田県北部老人福祉総合エリア	----- 11
秋田県中央地区老人福祉総合エリア	----- 13
秋田県南部老人福祉総合エリア	----- 15
高清水園	----- 21
秋田県心身障害者コロニー	----- 23
由利本荘地域生活支援センター	----- 26
阿桜園	----- 28
湯沢雄勝広域市町村圏組合 やまばと園	----- 30
障害者支援センター御所野	----- 32
秋田県点字図書館	----- 34
秋田県聴覚障害者支援センター	----- 36
III 公益的な取組	
事務局	----- 41
高清水園	----- 42
秋田県心身障害者コロニー	----- 43
由利本荘地域生活支援センター	----- 46
阿桜園	----- 47
湯沢雄勝広域市町村圏組合 やまばと園	----- 48
障害者支援センター御所野	----- 49
秋田県点字図書館	----- 50
【資料】	
1. 組織	----- 53
2. 施設の概要	----- 54
3. 施設のサービス利用状況	----- 55
4. 役員等	----- 57
5. 会議等	----- 58
6. 職員	----- 61
7. 研修の実施状況	----- 63
8. 苦情解決処理状況	----- 70
9. 虐待防止（対策）委員会の開催状況	----- 72
10. ハイクオリティサービス推進システム	----- 74
11. 地域密着型サービス外部評価事業	----- 74

# I 概況



## 概 況

当事業団の経営に当たっては、「5カ年経営計画」（令和3年度～令和7年度）に基づき、利用者ニーズを踏まえたサービスの提供に引き続き努めたが、複数の施設において、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生の影響により柔軟な対応が求められた。

### 1 信頼され選ばれる施設づくり

#### (1) 質の高い福祉サービスの提供

##### ①利用者の高齢化・重度化への対応

高清水園において、重度化高齢化に対応すべく見直し整備したアセスメント票を使用し、利用者の状況を把握し、ニーズを汲み取れるように努めた。

やまばと園において、特殊浴槽を整備し、入浴支援体制の充実を図った。

障害者支援センター御所野において、床走行式電動介護リフト及び特殊浴槽用ストレッチャーを導入し、介護負担の軽減を図った。

##### ②ハイクオリティサービス推進システムの運用見直し

当法人において独自に取り組んでいるハイクオリティサービス推進システムについて、全マニュアルの見直しを実施し、令和5年度から事業団共通マニュアルと各施設マニュアルへと体系を改めた。また、令和5年度は障害者支援センター御所野が福祉サービス第三者評価を受審することとした。

##### ③コロナ禍における利用者支援

複数の施設で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、日常生活支援に支障をきたしたが、発生施設に事業団内の職員の応援派遣を行うなどにより、利用者への影響を最小限に留めることができた。

#### (2) 利用者の安心・安全の向上

##### ①虐待防止など権利擁護の徹底

利用者虐待防止のための指針に基づき、各施設において、身体拘束対応マニュアルの理解と遵守、チェックリストによる振り返り等に引き続き取り組み権利擁護の徹底を図った。また、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったが、令和5年度から事務局職員が各施設を巡回して支援状況を視察し、虐待防止の取組をより一層推進することとした。

##### ②苦情・要望への適切な対応

各施設による満足度調査等の実施により、幅広く苦情、要望等を受け付ける体制を整え、受け付けた苦情等には迅速に対応し、利用者ニーズの実現に可能な限り応えていくよう努めた。

##### ③新型コロナウイルス等の感染症対策

各施設において、国が発出している各種ガイドラインや感染予防マニュアルに基づき、適切に対応したが、複数の施設で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した。発生した施設においては、施設内での職員間の情報共有にオンラインを活用するなど拡大防止対応を適切に実施することにより、拡大を最小限に留めることができた。

## 2 地域とともに歩む施設づくり

### (1) 地域における公益的な取組の推進

#### ①取組の充実

地域における様々な福祉課題や生活課題に積極的に関わりつつ、そうした課題の解決の一助となるよう、公益的な取組を行った。

また、関係機関や地域住民などとの協同による取組を強化するため、ホームページ等により周知を図った。

#### ・事務局

NPO法人との共同活動によるフードバンク事業について、秋田市内のコンビニエンスストアから食品の回収を行った。

#### ・高清水園

新型コロナウイルス感染症拡大のおそれから、近隣の町内会への協力を呼びかけながらサポートセンター周辺の清掃活動、除雪活動は中止し、施設単独で高清水園周辺のクリーンアップ活動を実施した。

#### ・秋田県心身障害者コロニー

地域で生活する障がいのある方を対象としたふれあい交流イベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響により延期や中止となることが多かったが、コロニー就労継続支援B型事業と連携した生産物即売会については予定どおり開催することができた。

職場体験学習については、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。

#### ・由利本荘地域生活支援センター

新型コロナウイルス感染症の影響でペアレントトレーニング等の講演開催は中止となったが、市内の主任保育士研修会へ職員を講師として派遣し、障がい児支援の理解促進に努めた。

#### ・阿桜園

新型コロナウイルス感染症の影響により、一部中止したイベントもあったが、スポレク教室、書道教室を実施し、地域での余暇活動の支援が必要な障がい児者等を対象に日中活動の機会を提供した。

#### ・やまばと園

新型コロナウイルス感染症の影響により、一部中止したイベントもあったが、在宅の障がい者へ休日の余暇活動を提供した。

#### ・障害者支援センター御所野

新型コロナウイルス感染症の影響により、特殊浴槽の開放は中止となったが、利用者との散策の機会を利用し、施設周辺のゴミ拾い、除草作業を2回実施し、周辺環境の整備に努めた。

#### ・秋田県点字図書館

新型コロナウイルス感染症拡大予防対策に努めながら、「夏休み点字図書館体験」を2回実施し、「小学校の点字体験学習の受入」で3つの小学校を受け入れた。

## (2) 地域生活を支える支援（セーフティネット）

### ①地域包括的な支援体制の整備

高清水園において、グループホーム入居者の活動先を継続するだけでなく、本人の要望や得手不得手を踏まえ、事業所見学、体験利用を行い新たな活動先への契約に結び付けた。また、新たにアパート型グループホームを開設し、従来のグループホームとは異なる住環境を整備した。

コロニーにおいて、グループホーム住居の老朽化に伴い、利用者の高齢化に合わせた建物の建設に向けて、用地取得を行った。今後具体的な協議・検討を進めて行く。

### ②地域生活支援サービスの充実

由利本荘地域生活支援センターにおいて、放課後等デイサービス利用者の保護者や教育機関と情報交換を密にし、きめ細やかな支援を継続することにより、在宅サービスの充実を図ると共に、市が推進しているデジタル推進事業へ積極的に対応し、地域生活支援拠点としての役割強化を図った。

## (3) 利用者と地域住民との交流促進

### ①交流機会の設定

複数の施設でクラスターが発生するなど新型コロナウイルス感染症の影響により中止となるイベントがあったが、コロニーにおいて歩人イベントには多くの来場者が参加するなど交流機会の実施に努めた。

## 3 職員がやりがいを持って働ける職場づくり

### (1) 多様で良質な福祉人材の確保

#### ①職員採用の取組強化

新型コロナウイルス感染症の影響により例年どおりの説明会参加などを行うにとどまった。

一方、令和5年度から事務局に人材確保のための専門係を新たに設置し、積極的な広報活動、インターンシップ、関係機関との調整、就活サイト等の検討を行うための体制を整備することとした。

### (2) 事業団の将来を担う中核的な人材の育成

#### ①キャリアパス体系、研修体系の整備

キャリアパス体系に基づいた研修として、福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程のうち初任者コース、中堅職員コース、チームリーダーコースの3コースを法人独自で実施した。

また、各職員の研修履歴のデータ化を進め、事務局で一括管理する体制を整えた。

#### ②将来を見据えた資格取得者の計画的確保

施設運営上欠くことのできない資格等に係る研修については、職員研修規程を整備し、計画的に研修の受講者選定を行い、将来を見据えた人材の育成を図った。

#### ③人事評価制度の構築

人事評価制度について、人事評価制度検討作業チームで検討内容をまとめ、施設長会議に報告した。今後も先進事例の情報収集を行い、検討を継続していくこととした。

#### ④メンター制度の実施

昨年度に引き続きメンター制度を実施し、新規採用職員12名に面談をそれぞれ3回実施し、円滑な職場定着と適切な人材育成に努めた。

### (3) 働き方改革を踏まえた処遇の改善と職場環境の向上

#### ①人事労務管理体制の強化

時間外労働の削減について積極的に取り組み、必要に応じて業務を見直す体制整備を推進した。また、就業規則などの理解を促進する機会を設けるなど、規則をベースとしたコンプライアンス教育についても実施した。

#### ②ワークライフバランスへの配慮

福利厚生制度や出産・育児・介護に関するパンフレットを更新し、タイムリーな情報提供に努めるなど、仕事と家庭の両立支援を行った。

また、年次有給休暇の取得促進をするとともに、引き続き導入した長期休暇制度の取得の周知も行った。

#### ③メンタルヘルスケアの充実

新規採用職員に対し、セルフチェックの重要性や、組織としてのラインケアであるストレスチェックシステムについて研修を行った。また、各施設に実施担当者を設置し、システムによるストレスチェックを実施し、職員自身がメンタルヘルスに向き合う機会を提供した。

### (4) 業務改善に向けた取組

#### ①ICTシステムによるシステムや介護ロボット等の活用

令和4年度に予定していたグループウェアの移行は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ネットワーク構築が遅れたため令和5年度に行うこととなったが、給食システムに関しては見直しを進めることができた。この給食システムは、従来各施設別々のシステムであったが、同一システムで運用することとなるため、令和5年度から本格稼働されることにより、事業所間での献立の共有や栄養マネジメントとの連携などの業務効率化が期待される。また、ICTによるシステム活用の更なる推進を図るため、事務局に新たに専門係を設置することとし、令和5年度から検討を行うための体制を整備することとした。

#### ②ネットワークシステムの更新等

耐用年数を超過したルーター、HUBなどを更新し、オンライン研修などに対応したネットワーク構築を行った。

また、インターネット環境は事業上必須なものとなっていることを鑑み、不具合が生じた際のダウンタイムを軽減するため、不具合箇所を特定するアプリケーションを導入する等の対策を講じた。

## 4 自立し持続可能な経営基盤づくり

### (1) コンプライアンスの徹底

#### ①コンプライアンス教育

社会的な規範やモラルを守りつつ、関係法令を遵守し、公益的かつ信頼性の高い経営を実現するため、労働関係法令、福祉関係法令、虐待防止法等のコンプライアンス教育を実施した。

## (2) 自律的な経営を支える財務基盤の確立

### ①グループホームの見直し

地域での生活を望む利用者のニーズに応えるため、心身障害者コロニーにおけるグループホームの整備計画を立て、由利本荘市にグループホーム建設用地を確保した。

### ②補助制度の効果的活用

コロナ対応における掛かり増しした人件費や消耗品費などの経費について、活用可能な補助金を最大限に充てた。また、職員に対しコロナ支援に係る手当支給を行い、一部補助金は職員に直接還元した。

### ③県有大規模施設の今後の在り方

県から土地・建物の無償貸与を受け、当法人が運営している心身障害者コロニーについて、秋田県とあり方の検討を行った。今後も、現在利用している方が、より良い環境下で適切な支援を受ける事ができるよう、学識経験者や障害者支援団体等がメンバーとなり、県主導で新たな検討会を設置する見込みとなった。

また、南部老人福祉総合エリアについては、指定管理施設であるコミュニティセンターが管理する設備が、養護・軽費老人ホーム及び老人専用マンションの今後のあり方に影響を及ぼすことから、秋田県及び横手市と情報の共有を図り、各々の立場による意見交換を行った。

## (3) 効果的な改修による施設の長寿命化と計画的な改築等

### ①施設修繕支援の活用

専門性を有する事業者からのアドバイスをもとに、効果的な施設の修繕を行い、施設の長寿命化に努めた。

### ②事業展開積立金

心身障害者コロニーのグループホーム整備のため、2百万円を取り崩したが、将来の施設整備に向け新たに約2億円程度の積立を行うことができた。

## (4) 危機管理体制の強化

### ①事業継続計画の策定

令和6年度からの実施に向けて、事業継続計画のひな形を作成し、各施設において作成作業を進めた。

### ②メール一斉送信システムの整備

効率的なシステムに変更したメール一斉送信システムの訓練を重ね、有事においてスムーズな情報配信、体制構築、職員連携をするための体制整備に努めた。



## Ⅱ 施設別の概要



## 重点的な取組

### ①利用者増に向けたPR活動の展開

- ・市広報誌、地区広報へ各種教室の情報や記事を掲載した。地元新聞（北鹿新聞）へ広告を掲載するとともに、タイアップ企画を開催し長期に渡る連携を構築した。
- ・エントランスホールで地元のサークルグループ、NPO法人の作品展示、障がい者アート（個展）などを7回開催した。
- ・日頃ご利用いただいているお客様に感謝することを目的としたミニイベント（プレゼント企画）を5回開催した。
- ・子育て世代のニーズ充足を目的とした事業展開を、令和5年度5月から実施できるよう方策を計画し準備を進めた。

### ②健康増進・生きがいづくり事業の充実

- ・健康増進教室は年2回開催予定が、感染症状況により前期のみ（3教室4コース：5～6月）開催した。
- ・常勤講師による木工教室は4～6月は人数制限（1回3名）を設けて開催。以降は制限なしで開催したものの10月下旬から1月まで中止（講師都合）となった。外部講師による料理教室は年4回、フラワーアレンジメント教室は年2回（2回中止）であった。
- ・地域包括支援センターとの共催による高齢者健康教室は感染症対策を講じ全日開催した。
- ・スポーツ大会は昨年度の反省を踏まえ、開催時期をずらしたこともあり、計画とおりグラウンドゴルフ大会2回（6、10月）、ユニカール交流会2回（7、11月）開催できた。
- ・世代間交流事業（さつまいも収穫：市内8保育園）は感染症対策を講じて実施し、園児と地域寿社会の方々の交流の場として喜ばれた。

### ③利用者サービスの充実・利用者満足度の向上

- ・救急救命講習、不審者対応講習は感染症状況で開催することはできなかったものの、接遇研修はWEB研修に切り替えて参加、防災対策として市職員による講習を開催した。
- ・運営上・労務管理上必要である研修に5回参加したほか、事業所内研修を4回開催し必要な知識を深める機会とした。

### ④設備等のチェックと早期改善に向けた対応

- ・日常点検を確実に遂行するとともに、事業所の消防設備に係る研修を開催し職員の設備に関する意識を高め、有事の際の操作方法の周知を図った。

### ⑤危機管理体制の強化（感染症対応含む）

- ・法人のBCP計画策定に準じた計画書作成をすすめた。
- ・毎月の運営・職員会議で感染症状況を周知するとともに、対策の徹底・健康管理、罹患してしまった際の行動を確認した。

## 北部エリアの利用状況

### 1. コミュニティセンターの利用状況

単位：人

区 分		年 間 合 計 (人)		比較増減
		令和4年度	令和3年度	
有料	休 憩	22,910	21,444	1,466
	宿 泊	2,039	959	1,080
	会 議 室 等	1,850	2,182	△ 332
	屋内運動広場	1,676	743	933
	テニスコート	1,517	842	675
	各種自主事業等	585	740	△ 155
	小 計	30,577	26,910	3,667
無料	屋内運動広場	7,892	12,609	△ 4,717
	屋外運動施設等	1,189	1,026	163
	各種自主事業等	3,870	3,882	△ 12
	視 察 等	48	38	10
	小 計	12,999	17,555	△ 4,556
合 計		43,576	44,465	△ 889

### 2. 各種教室・講座の利用状況

( ) 内は開催回数

区 分		令和4年度	令和3年度	比較増減	
生きがい活動	有料	陶 芸	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
		木 工	352 ( 102 )	398 ( 105 )	△ 46 ( △ 3 )
		園 芸	3 ( 1 )	10 ( 2 )	△ 7 ( △ 1 )
		茶 道	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
		その他の教室	230 ( 36 )	332 ( 40 )	△ 102 ( △ 4 )
		小 計	585 ( 139 )	740 ( 147 )	△ 155 ( △ 8 )

区 分		令和4年度	令和3年度	比較増減	
健康づくり	有料	スポーツ大会等	374 ( 4 )	77 ( 1 )	297 ( 3 )
		小 計	374 ( 4 )	77 ( 1 )	297 ( 3 )
交流活動	無料	交流イベント等	786 ( 30 )	389 ( 21 )	397 ( 9 )
		小 計	786 ( 30 )	389 ( 21 )	397 ( 9 )
その他	無料	映 写 会	826 ( 88 )	1,620 ( 111 )	△ 794 ( △ 23 )
		無 料 開 放	26 ( 2 )	41 ( 2 )	△ 15 ( 0 )
		ポイントカード等	1,858 ( 12 )	1,755 ( 12 )	103 ( 0 )
		小 計	2,710 ( 102 )	3,416 ( 125 )	△ 706 ( △ 23 )
合 計		3,870 ( 136 )	3,882 ( 147 )	△ 12 ( △ 11 )	

### 3. 利用状況の推移

単位：人

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年間利用者数	68,363	70,019	39,742	44,465	43,576

### 重点的な取組

#### ①地域や関係団体を巻き込みながらの魅力あるイベント等の開催

- ・新型コロナウイルス感染状況を見ながら11月6日に3年ぶりに「感謝祭」を開催した。例年より規模を縮小しての開催となったが、小さな子供連れのお客様を中心に盛況に終えることができた。
- ・感染拡大とともに中止していた各種教室を5月から再開した。利用者が少ない「ヨガ教室」について、周知を図るべく「感謝祭」において無料体験会を実施し、その成果により利用者が増加した。コアトレエクササイズ、楽しく体操はたいへん好評でキャンセル待ち状態となるなど、今年度力を入れて取り組んだ「健康づくり教室」関連が盛況だった。

#### ②利用者増に向けたPR活動の展開

- ・「エリアだより」を毎月作成し、市民サービスセンターの他、御所野町内各戸へ配布し、宿泊や入浴などの割引や各種教室の案内、イベント開催などエリア事業の周知に努めた。
- ・パンフレットについて中央地区の「道の駅」への設置を計画していたが新型コロナウイルス感染状況に鑑み、営業活動を自粛したことにより、実施を見送った。

#### ③サービスの向上

- ・新たに「宿泊者アンケート」を9月から3ヶ月実施した。15件の意見を頂いたが、設備等のハード面において気づかなかった指摘も多く、対応可能なものについては即時に改善を図ったほか、職員会議、苦情解決処理委員会で報告し、職員や第三者委員から意見・助言を得て再検討を行った。解決できなかったものについては今後の検討課題として改善に取り組むこととした。
- ・「顧客満足度調査」については、回答数が少ないことから記入場所がわかりやすいように装飾を施したほか、毎月第2水曜日に実施している「入浴割引デー」に受付前に記入場所を設置した。利用者に声掛けなどにより回答を依頼したものの回答数を増やすまでには至らなかった。

#### ④設備等の維持管理

- ・建築基準法や各法令に基づき、職員の自主点検や委託業者による保守点検などを実施した。建物や設備等の経年劣化が主因の故障や破損があり、事故の未然防止を含め利用者保護を最優先に修繕に努めた。また、規模の大きな修繕等については、秋田県に点検報告や修繕要望を行った。

## 中央エリアの利用状況

### 1. コミュニティセンターの利用状況

※単位：人

区 分		年 間 合 計 (人)		比較増減
		令和4年度	令和3年度	
有料	休 憩	29,736	27,572	2,164
	宿 泊	1,955	875	1,080
	会 議 室 等	12,925	12,276	649
	屋 内 運 動 広 場	23,153	22,339	814
	緑 地 運 動 広 場	3,742	3,960	△ 218
	陶 芸 室 等	2,196	2,132	64
	プ ー ル	0	21,120	△ 21,120
	休憩&プールセット	0	182	△ 182
	各種自主事業等	2,303	1,683	620
小 計	76,010	92,139	△ 16,129	
無料	屋 内 運 動 広 場	66	0	66
	屋 外 運 動 施 設 等	164	100	64
	各種自主事業等	1,115	346	769
	視 察 等	0	0	0
	小 計	1,345	446	899
合 計		77,355	92,585	△ 15,230

### 2. 各種教室・講座の利用状況

： 人 ( ) 内は開催回数

区 分		令和4年度	令和3年度	比較増減	
有料	生 き が い 活 動	陶 芸	427 ( 39 )	308 ( 38 )	119 ( 1 )
		フ ラ ワ ー	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
		茶 道	118 ( 22 )	66 ( 14 )	52 ( 8 )
		そ の 他 の 教 室	64 ( 3 )	15 ( 1 )	49 ( 2 )
		小 計	609 ( 64 )	389 ( 53 )	220 ( 11 )
	健 康 づ く り 活 動	太 極 拳	375 ( 33 )	244 ( 19 )	131 ( 14 )
		コ ア ト レ EX	239 ( 29 )	142 ( 16 )	97 ( 13 )
		はつらつくらぶ事業	0 ( 0 )	352 ( 8 )	△ 352 ( △ 8 )
		健康づくり事業	336 ( 44 )	205 ( 28 )	131 ( 16 )
		小 計	950 ( 106 )	943 ( 71 )	7 ( 35 )
	そ の 他	イ ベ ン ト 等	744 ( 1 )	0 ( 0 )	744 ( 1 )
		小 計	744 ( 1 )	0 ( 0 )	744 ( 1 )
	合 計		2,303 ( 171 )	1,332 ( 124 )	971 ( 47 )

有料	健康	水 泳 教 室	0 ( 0 )	868 ( 114 )	△ 868 ( △ 114 )
合 計			0 ( 0 )	868 ( 114 )	△ 868 ( △ 114 )

区 分		令和4年度	令和3年度	比較増減	
そ の 他	無 料	ポ イ ン ト カ ー ド	195 ( 195 )	276 ( 268 )	△ 81 ( △ 73 )
		無 料 開 放 等	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
		ボ ラ ン テ ィ ア ル ル ーム	920 ( 57 )	70 ( 7 )	850 ( 50 )
合 計		1,115 ( 252 )	346 ( 275 )	769 ( △ 23 )	

### 3. 利用状況の推移

※単位：人

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年 間 利 用 者 数	166,036	157,124	100,698	92,585	77,355

### 【コミュニティセンター】

#### ① PR活動の強化

・イベント開催や生き生き学園教室案内等の情報提供については、新聞広告、周辺地域への広報誌発行、館内のポスター掲示、HPでの情報掲載を行い周知に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響で事業の内容や規模、範囲に制限がかかり、PR活動自体も積極的なアプローチができない状況だった。

#### ② 魅力の具体化

・生き生き学園教室参加者へのアンケートを実施し、「お客様からのご意見・ご要望」の意見及び回答の掲示を行うなど、利用者からのご意見等に真摯に対応するよう努めた。魅力ある企画とその実践については、新型コロナウイルス感染症の影響で中止や見直しを余儀なくされた。

#### ③ 開催教室の改善

・消毒など感染予防対応をしっかりと行い、安心して教室に参加できることをアピールしながらの開催に努めた。一昨年度、昨年度とは違い感染症に伴う休館はなかったが、施設利用、教室開催にあたっては常に感染症予防を意識した対応を取り、安心して利用していただける環境づくりを行った。

・全体的には、開催教室数の増加及び1教室あたりの参加者数の増加に結び付けることができた。特に創作館陶芸教室については、知識や技術を持ち合わせた講師が指導することで、陶芸に興味・関心を持ったグループや個人が固定客として利用するようになった。

### 【養護老人ホーム】

#### ① 高齢化・要介護への対応

・内部疾患や精神疾患による市内外の医療機関への通院が増加している。日々の健康・生活状況・通院結果を職員間で共有し、医療や介護に必要な対応を速やかに図るよう努めた。

・介護度の見直しが必要な場合は、外部事業所の担当ケアマネジャーの協力を得て必要なサービス（ヘルパー利用、福祉用具の利用・設置等）が提供できるよう、適宜調整を図った。また認知症の症状が顕著となった利用者については、認知症研修・勉強会を企画・実施するとともに、職員間で情報共有に努め、再アセスメントによる処遇計画の見直しやケース検討を行った。加えて身元引受人や家族との情報共有・意思疎通にも努めた。

・介護度が高くなり常時介護サービスが必要となった利用者については、本人の意向を確認しながら身元引受人や家族とも相談のうえ利用可能な介護施設への移行調整に努めた。

・利用者の平均年齢は83歳。令和4年度の新規入所は4名、退所者は7名。退所のうち、他の高齢者施設への移行は3名、長期入院による退所が3名、死亡が1名であった。

・時期を異にして2名の利用者が新型コロナウイルスの陽性者となった。いずれも適切な初動対応により、感染者が拡大するには至らなかった。部屋は個室であり、トイレや水回りが完備されていることからゾーニングは個室単位とし、食事も居室配膳するなど効果的な対策をとることができた。

## ②住環境の整備

・トイレや流しがついた個室で生活していただいているが、利用者の身体機能低下に応じたバリアフリー改修が必要となっている。築30年を経過しており、ライフラインの設備を含め大規模な改修により、安心した居住空間の提供が課題である。

## ③経営の安定化

・年度当初の在籍46名だったが年度末の在籍は44名で、6名の欠員。市の担当者や関係機関と連携を図りながら入居者確保に努めた。  
・全国的に措置入所の要請が減少している傾向にあり、慢性的な欠員は避けられない。また、介護サービス事業では認められる加算等の上乗せも期待できない中で、利用者の介護度に応じた職員の加配を行っており、厳しい経営状況が続いている。

## 【軽費老人ホーム】

### ①安定した運営

・利用者数については、年度後半入院先での死亡が続いたものの、待機者への連絡や関係機関との調整により長期間空ける事無く入居者を確保出来た。  
・介護度が上がり一般から特定への変更が必要と思われる利用者に対して、都度本人や家族へ働きかけていくと共に引き続き待機者の情報共有に向け、関係機関との連絡・連携に努めた。

### ②安全で安心できる生活の提供

・利用者の7割近くが85歳以上となってきており、居室内での転倒が増えている。日頃から身体状況、動作等の変化を把握する事に努め、居室環境の確認を行っている。ケアマネジャーが中心となり、居室内への手すりの設置・追加、介護機器の使用を説明し介護計画を作成・実施している。  
・トイレや流しがついた個室で生活していただいているが、利用者の身体機能低下に応じたバリアフリー改修が必要となっている。築30年を経過しており、ライフラインの設備を含め大規模な改修により、安心した居住空間の提供が課題である。  
・健康管理では看護師を中心に日々の体調観察、居室訪問にて変化を察知し適宜対応に努めた。  
・日中活動の提供として、週単位で健康体操、レクリエーション、コーヒータムを実施し利用者間の関りや気分転換の機会となっている。  
・利用者の心身状態の変化や、将来的な他施設への移行等に関し、本人や家族へ情報提供を進めるとともに相談に乗り、良好な関係性を作ることが重要となっている。

・新型コロナウイルス感染症は9名の利用者と2名の職員が陽性となり、クラスターが発生。初期段階で複数の陽性者が出たが、居室はトイレや水回りが完備されていることからゾーニングは個室単位とし、食事も居室配膳するなど効果的な対策をとり、短期間で収束させることができた。しかし、一定期間居室で過ごしたことで利用者には身体機能の低下や心理面への影響も見られたことから、今後の配慮点として検討や工夫が必要である。

### ③職員の確保・維持

・勤務シフト作成時、各職員に希望休の聞き取りを行い、業務に支障が出ない範囲で可能な限り、希望休を取り入れている。これは仕事と家庭、プライベートをバランス良く両立する事で、仕事に意欲的に、いきいきと働いてもらえる事を目的としている。

## 【老人専用マンション】

### ①入居者増に向けた取組

・今年度は問い合わせ6件、新入居2名、退去2名。  
秋田県、横手市、事業団でエリアの今後の在り方について協議が行われており、問い合わせがあった際は、現状をお伝えした上で希望された場合は県に相談しながら入居を進めていくこととしている。

### ②安心できる生活環境の提供

・現在入居者は5名、個々の生活スタイルで活動されており、相談等に対しては細やかに対応した。

### ③健康管理

・マンションでは、新型コロナウイルス感染者は確認されなかったが、予防策として生活上の制限が長期に渡り、入居者への説明や協力をお願いする事が多かった。健康診断の実施や健康相談により、利用者の健康状態の把握に努めた。

## 【指定居宅介護支援事業所】

### ①安定した運営

・利用延べ人数については、要介護者、要支援者とも前年度よりも減となっている。利用者の入院等で前月比最大で7人減の月があった。担当件数の上限にも配慮しながら、利用者確保に努めていきたい。  
・認定調査依頼は積極的に受託し、入院時の連携加算等積極的に取得し、収入の増に努めた。

### ②サービスの向上に向けた取組

・ケアプラン作成時は総合的にアセスメントし、利用者やご家族からの要望等を考慮し、自立支援に向けたケアプランの作成に努めた。ケアプラン作成時、複数のサービス事業所について提案し、利用者自身に選択できるように努めた。

- ・モニタリングから今後必要と思われるサービス等について早めに提案し、利用者が見通しを立て不安なく生活できるよう努めた。

### ③事業所等との連携の強化

- ・地域ケア会議には毎回参加し、地域課題を見出すとともに、各関係機関との情報交換や連携を図ることができた。
- ・毎月居宅支援センター会議、施設との連絡会を開催し、利用者に関わる関係機関と情報を共有し、共通の認識で支援することにより利用者の安心につながるよう努めた。

## 【指定訪問介護事業所】

### ①サービスの向上に向けた取組

- ・毎月居宅支援センター会議を開催し、ケアプランに沿ったサービス提供ができているか、またより良いサービス提供のため3か月ごとにケアカンファレンスを開催し、ケアプランが利用者のニーズに合ったものか確認することができた。
- ・満足度調査の実施により、利用者の評価と要望に対し速やかに対応し、提供するサービスの質の向上に努めた。
- ・施設内の研修に積極的に参加し、質の高いサービス提供体制の構築に努めた。

### ②事業所との連携の強化

- ・毎月施設との連絡会を開催し、利用者の情報を交換し共有することで利用者のニーズに対応したサービスを提供することができた。
- ・各居宅介護支援事業所へは、サービス提供で変化があった場合は速やかに情報を提供し、また毎月モニタリング票で利用者の情報を提供している。

南部エリアの利用状況

1. コミュニティセンターの利用状況

単位：人

区 分		年 間 合 計 (人)		比較増減
		令和4年度	令和3年度	
有 料	休 憩	7,179	6,734	445
	宿 泊	542	311	231
	会 議 室 等	28	95	△ 67
	屋 内 運 動 広 場	1,314	1,916	△ 602
	プ ー ル	6,369	6,699	△ 330
	セ ッ ト 券	71	78	△ 7
	各種自主事業等	1,621	2,034	△ 413
	小 計	17,124	17,867	△ 743
無 料	屋 内 運 動 広 場	19,108	17,819	1,289
	屋 外 運 動 施 設 等	2,544	3,056	△ 512
	各種自主事業等	8,844	8,467	377
	視 察 等	36	10	26
	小 計	30,532	29,352	1,180
合 計		47,656	47,219	437

2. 各種教室・講座の利用状況

( ) 内は開催回数

区 分		令和4年度	令和3年度	比較増減	
生 き が い 活 動	有 料	陶 芸	948 ( 208 )	785 ( 296 )	163 ( △ 88 )
		民 芸	77 ( 18 )	108 ( 19 )	△ 31 ( △ 1 )
		水 泳	1,224 ( 240 )	968 ( 141 )	256 ( 99 )
		茶 道	99 ( 11 )	99 ( 10 )	0 ( 1 )
		その他の教室	1,038 ( 103 )	886 ( 111 )	152 ( △ 8 )
		小 計	3,386 ( 580 )	2,846 ( 577 )	540 ( 3 )

区 分		令和4年度	令和3年度	比較増減	
健 康 づ くり	有 料	スポーツ大会等	287 ( 5 )	347 ( 7 )	△ 60 ( △ 2 )
		小 計	287 ( 5 )	347 ( 7 )	△ 60 ( △ 2 )
交 流 活 動	無 料	交流イベント等	1,889 ( )	2,470 ( )	△ 581 ( 0 )
		小 計	1,889 ( 0 )	2,470 ( 0 )	△ 581 ( 0 )
そ の 他	無 料	映 写 会	655 ( 48 )	586 ( 49 )	69 ( △ 1 )
		無 料 開 放	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
		ポイントカード等	25 ( )	25 ( )	0 ( 0 )
		小 計	680 ( 48 )	611 ( 49 )	69 ( △ 1 )
合 計		2,856 ( 53 )	3,428 ( 56 )	△ 572 ( △ 3 )	

3. 利用状況の推移

単位：人

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年間利用者数	81,482	68,182	35,918	47,219	47,656

## 南部エリアの利用状況

### 1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	R4. 3. 31		R5. 3. 31		R4. 4～R5. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
養護老人ホーム	50	46	50	44	14,166	38.8
軽費老人ホーム	50	45	50	47	16,451	45.1
内 特定入居者生活介護	30	28	30	27	9,986	27.4
老人専用マンション	24	5	24	5	1,214	3.3

### 2. 利用者の状況（令和5年3月31日現在）

#### （1）養護老人ホーム

介護度区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	1	3	3	2	1	0	10
女	1	0	3	10	6	2	0	22
計	1	1	6	13	8	3	0	32

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	0	0	0	0	1	8	6	15
女	0	0	0	0	1	5	23	29
計	0	0	0	0	2	13	29	44

#### （2）軽費老人ホーム

介護度区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	2	5	3	2	0	0	12
女	3	5	6	7	2	0	0	23
計	3	7	11	10	4	0	0	35

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	0	0	0	0	0	2	15	17
女	0	0	0	0	0	2	28	30
計	0	0	0	0	0	4	43	47

#### （3）居宅支援サービス

種 別	R4. 4～R5. 3延件数
指定居宅介護支援事業	841
指定訪問介護事業	6,977

## 重点的な取組

### ①利用者の障がい特性への対応

- ・障がい特性の理解と具体的な対応や気持ちに寄り添う支援方法を学ぶ研修の受講や、支援現場と研修会場をオンラインで繋ぎ、支援の状況や工夫を確認しながら理解を深める研修の充実を図るとともに、ケース検討時には看護師などの専門職から利用者個々の特性に沿った支援や介護技術などの助言をもらい、職員の支援技術向上に努めた。
- ・利用者のニーズや安全面の配慮などを検討し、居室床のフローリング仕様への整備を進め、怪我予防など安心して快適な居住環境を整え、生活の質の向上に努めた。

### ②自閉症・強度行動障害等への専門的な取組み

- ・強度行動障害支援者養成研修修了者を講師として新規採用職員や経験の浅い職員を中心に事業所内研修を開催し、基本的な知識など学ぶ機会を設けた。また日頃の支援の場面でもOJTをとおして理解が深まるよう取り組んだ。
- ・支援アドバイザーの助言をもらいながら、不適応行動の解決だけでなく、背景にあるニーズを探る視点を持つなどの共通認識のもと、支援の向上に繋がるように取り組んだ。
- ・重度高齢化に対応すべく昨年度見直し整備したアセスメント票を使用し、利用者の状況を把握し、ニーズを汲み取れるように努めた。
- ・応用行動分析等に基づいた支援指針の整備は年度内の実施には至らなかった。

### ③地域生活基盤の体制整備と機能拡充

- ・サテライト型住居を利用していた入居者の要望を踏まえ、新たにアパート型グループホーム「あすか」を開設し、従来のグループホームとは異なる住環境を整備した。
- ・グループホーム入居者の活動先を継続するだけでなく、本人の要望や得手不得手を踏まえ、事業所見学、体験利用を行い新たな活動先への契約に結び付けた。
- ・利用者の個々の生活ニーズをくみ取り、安心して暮らしていける生活の実現に向けて取り組みと共に、将来的な本体施設の在り方を検討していくために委員会を整理し、地域生活支援移行委員会を立ち上げた。

## 高清水園の利用状況

### 1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	R4. 3. 31		R5. 3. 31		R4. 4～R5. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援	88	84	88	81	29,773	81.6
生活介護	92	92	92	87	22,925	62.9
共同生活援助（GH結）	6	6	5	4	1,653	4.6
共同生活援助（GHみのり）	6	6	5	5	1,991	5.5
共同生活援助（GHさくら）	6	6	5	5	1,994	5.5
共同生活援助（GHあおぞら）	7	7	6	5	2,218	6.1
共同生活援助（GHこまち）	5	5	5	5	1,822	5.0
共同生活援助（GHあすか）	—	—	4	4	727	4.0
短期入所	8	—	8	—	28	0.1
放課後等デイサービス	10	23	10	17	1,667	7.1

種別	R4. 4～R5. 3延件数
相談支援（児童含）	670
日中一時支援	26

### 2. 利用者の状況（令和5年3月31日現在）

#### （1）施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	0	2	13	37	52
女	0	0	0	0	1	9	19	29
計	0	0	0	0	3	22	56	81

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	10	10	22	10	0	0	0	52
女	5	8	11	2	3	0	0	29
計	15	18	33	12	3	0	0	81

#### （2）グループホーム

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	1	0	3	3	1	4	0	12
女	8	0	2	2	1	2	1	16
計	9	0	5	5	2	6	1	28

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	0	3	6	2	1	0	0	12
女	2	5	6	3	0	0	0	16
計	2	8	12	5	1	0	0	28

## 重点的な取組

### ①虐待ゼロへの取組

・各課で毎月実施している個人チェックリストの見直しを行い、形骸化しないように取り組んだ。年2回行われるチェックリストについては、虐待・不適切な支援と疑われる事案があり、調査・検証し市町村への相談を行った。見かけたら直ぐに上司に報告し対応すること、傍観や後日の報告も虐待・不適切な支援となることについて、周知徹底した。

各支援課とコロニー全体の2階層とした虐待防止対策委員会の体制は2年目となり、防止対策に引き続き取り組んでいる。また、利用者への身体拘束廃止宣言、全支援職員に対し、人権擁護・倫理行動規範・虐待防止・動作制限等の研修の徹底を継続し、虐待防止の強化に取り組んだ。

### ②より良いサービス提供体制の確立

・より良いサービス提供体制の確立のため、新たな組織体制とした。利用者の疾病や身体状況、個性等を考慮し、利用者及びご家族へサービス提供について丁寧な説明をし、ご理解のもと課・寮移行を実施し、利用者及びご家族より一定の評価を頂くことができた。

・就労継続支援B型事業の利用者の特性・高齢化に合わせた作業又は生活介護への移行等の協議・検討を随時行い、利用者への説明と理解を図り、作業の変更や生活介護への移行を進めていった。また、新たに農閑期に行える作業の準備を整え、作業場所の一部を地域へ移行することについては継続して協議・検討していく。

・法人の組織改編に伴い、既存のグループホームに加え、由利本荘地域生活支援センターのグループホームを併せて管理掌握（20か所・利用者103名）することとなった。利用者の高齢化や建物の老朽化、地域住民として長年生活してきた西目町地区へのグループホーム建設に向けた具体的な協議・検討を進め、候補地を選定し土地取得を行った。今後事務局・県・由利本荘市と建設に向け協議検討していく。

・組織体制の見直しを行い、あじさい寮を地域支援課から白光支援課付けとし、強度行動障がいをもつ利用者に対して互いに連携と協力した支援ができる環境を整えた。なお、県内施設職員の研修受入の計画は見直すこととする。

### ③人材確保

・ハローワークでの会社説明会はコロナ禍によりできなかった。新聞折り込みへの募集チラシの作成と定期的発行、リクルート社の紹介サイトへの投稿等と図ってきたが、定年や身体的に退職される方も多く欠員を埋めることはできなかった。職員への職場環境・待遇の改善を図っていかねばならない。

### ④創立50周年記念事業開催へ向けての準備

・コロナ禍の状況が変わらず、記念式典等中止とし、記念誌の発行と記念品配布のみとした。各支援課で創立50周年記念式典の代替イベントを行った。

### ⑤安定した運営体制の継続

・利用者の高齢化や疾病のため、退所者数（自然減）に見合った入所者確保は大変厳しかったが、入所受入に尽力した。また、障害支援区分変更、利用の促進、経費の削減等に努めた。

## 心身障害者コロニーの利用状況

### 1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	R4. 3. 31		R5. 3. 31		R4. 4～R5. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援	340	324	340	318	115,573	316.7
生活介護	350	308	350	300	80,686	221.1
就労継続B型	60	54	60	59	12,807	47.8
共同生活援助（GHわかまつ）	6	6	6	6	2,026	5.6
共同生活援助（GHやすらぎ）	6	6	6	6	2,188	6.0
共同生活援助（GHそよかぜ）	4	4	4	4	1,451	4.0
共同生活援助（GHはまなす）	4	4	4	4	1,458	4.0
共同生活援助（GHまつかぜ）	6	6	6	6	2,187	6.0
共同生活援助（GHしおさい）	5	5	5	5	1,488	4.1
共同生活援助（GHなでしこA）	5	5	5	4	1,794	5.0
共同生活援助（GHなでしこB）	4	4	4	4	1,460	4.0
共同生活援助（GHかもめ）	5	5	5	5	1,823	5.0
共同生活援助（GH御門A）	5	5	5	5	1,814	5.0
共同生活援助（GH御門B）	6	6	6	5	1,721	4.8
共同生活援助（GH清和A）	5	4	5	4	1,433	4.0
共同生活援助（GH清和B）	5	5	5	5	1,812	5.0
共同生活援助（GH朋A）	5	3	5	4	1,349	3.7
共同生活援助（GH朋B）	5	4	5	5	1,822	5.0
共同生活援助（GHめぐみ）	6	6	6	6	2,107	5.8
共同生活援助（GH菖蒲）	6	6	6	6	2,140	5.9
共同生活援助（GH若菜）	5	5	5	4	1,755	4.9
共同生活援助（GH三愛B）	5	5	5	0	1,814	5.0
共同生活援助（GH虹）	5	4	5	5	1,721	4.8
短期入所	5	—	5	—	36	0.1

種別	R4. 4～R5. 3延件数
日中一時支援	78

### 2. 利用者の状況（令和5年3月31日現在）

#### （1）施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	1	7	37	55	69	169
女	0	0	0	2	19	40	88	149
計	0	0	1	9	56	95	157	318

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	20	16	20	28	30	34	21	169
女	2	7	12	19	26	51	32	149
計	22	23	32	47	56	85	53	318

※10代3名を20代に含める

#### （2）グループホーム

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	25	0	11	11	14	5	0	66
女	4	0	0	11	9	3	0	27
計	29	0	11	22	23	8	0	93

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	4	2	8	20	15	16	1	66
女	0	2	3	7	3	10	2	27
計	4	4	11	27	18	26	3	93

心身障害者コロニー診療所の利用状況

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
医 科	診療日数	203日	197日	190日	224日	234日	
	延べ 受診者数	利用者	9,643人	8,959人	9,345人	8,186人	7,049人
		その他	133人	121人	113人	65人	62人
		計	9,776人	9,080人	9,458人	8,251人	7,111人
歯 科	診療日数	76日	83日	90日	76日	73日	
	延べ 受診者数	利用者	647人	766人	731人	641人	564人
		その他	0人	0人	2人	0人	0人
		計	647人	766人	733人	641人	564人
計	診療日数	279日	280日	280日	300日	307日	
	延べ 受診者数	利用者	10,290人	9,725人	10,076人	8,827人	7,613人
		その他	133人	121人	115人	65人	62人
		計	10,423人	9,846人	10,191人	8,892人	7,675人

## 重点的な取組

### ①利用者ニーズに配慮した受入れ強化

- ・生活介護事業においては、障害者雇用の運転手を1名増員し、送迎ルートや利用時間等について利用者の要望にできるだけ添えるように見直しを行った。また、相談支援専門員と連携を図り、新規利用契約に結びつけたが、身体機能の低下等の要因による契約終了数が新規利用者数を上回った。
- ・特別支援学校から実習を受け入れ、卒業生から新規利用に繋げることができた。
- ・放課後等デイサービスにあっては、保護者や教育機関と情報交換を密にし、登校のサポートなどきめ細かな支援を継続したことにより、利用児童の飛躍的な成長に繋がったケースもあり、関わった職員にとっても、事業所としても大きな成果を上げることができた。

### ②相談支援事業と就労・生活支援事業の充実

- ・行政や関係機関、地域の相談支援事業所との支援ネットワーク構築を図っており、市町村を跨ぐ困難なケースへの対応力を高めることができた。
- ・由利本荘市が進めるデジタル推進事業へも積極的に対応し、遠隔地からのWEB面談の準備を進め、地域生活支援拠点としての役割の強化を図った。
- ・県から受託している就労移行等連携調整事業については、令和5年度も受託することとした。
- ・今後の事業運営については、令和6年度の障害福祉サービス等報酬改訂等、制度改正の動向を見据えつつ検討することとした。

### ③人材育成と支援の向上

- ・新型コロナウイルス感染症への対応のため、リモート開催の研修への参加が多かったが、第8波以降は参集型の有効かつ実践に活かせる各種研修へ積極的に参加し、知識やスキルアップに繋がるよう人材育成に努めた。

## 由利本荘地域生活支援センターの利用状況

### 1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	R4. 3. 31		R5. 3. 31		R4. 4～R5. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
生活介護	20	39	20	35	4,788	18.5
児童発達支援	10	7	10	9	243	0.9
放課後等デイサービス		35		34	1,998	7.3
放課後等デイサービス	10	17	10	16	1,986	7.2

種 別	R4. 4～R5. 3延件数
相談支援（児童含）	1,833
障害児等療育支援	48
基幹相談支援センター	1,626
障害者就業・生活支援センター	3,000

## 重点的な取組

### ①虐待防止ゼロを目指した体制強化

・新設した身体拘束廃止検討チームは、園内において2回の新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により計画した活動は実施できなかったが、京都府身体拘束防止推進会議障害者部会発行の「障害のある人の尊厳を重んじた支援を目指して～身体拘束・行動制限の廃止への手引き～」を関係職員に回覧、好事例から当園でも取り組めることがないか検討した。

・虐待防止対策委員会と研修委員会との相互企画により、虐待防止研修・障害者虐待防止権利擁護伝達研修・メンタルヘルス伝達研修等を開催し、職員へ教育と行動変容を促した。

### ②組織体制の整備と機能拡充

・新たに地域支援課が創設され支援課との2課体制となり、業務分担の明確化により就労環境の改善が図られた。

・居住棟の再編成については、やまぶき棟を男性棟、あじさい棟を女性棟に区別し、移行に向けたタイムスケジュールも作成され、令和5年度中に試行的に実施する見込みとなった。

・放課後等デイサービス事業の利用率向上については、広報活動等により契約者数は増えたものの新型コロナウイルス感染症の蔓延や感染予防対策のため、学年・学級閉鎖等もあり、昨年度より利用率は減少した。

### ③事業効率化の推進

・時間外労働の削減と休暇取得の促進に取り組んできたが、慢性的な職員不足を解消することができなかったことに加え、2回の新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により、各事業や業務形態等の見直しに着手することができず、良好な職場環境の改善に至らなかった。また、休暇取得に関しては時季指定による休暇付与を行うことで5日取得を達成することができた。

・介護ロボットやICT関連の導入については、実際に2体の介護ロボットを使用体験したが、いずれも職員からは高評価を得ることができなかった。また、介護産業展にも参加したが、障がいのある方に使用する機器等に関しては、時期尚早に思われた。

### ④各種感染症対策

・運営会議及び保健衛生委員会を主として、各種感染予防対策に取り組んできた。園独自の新型コロナウイルス感染症対策指標を地域の感染動向を踏まえ改訂し、職員へ周知徹底に努めた。また、研修委員会による感染症予防研修を2回実施した。

・感染予防対策を実施しながらも、8月と11月に新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生した。利用者61名、GH利用者1名、職員43名と多く罹患したが、予防接種の効果なのか重症化した方はいなかった。

・感染症対策も含め、危機管理体制の整備としてBCP（事業継続計画書）の原案作成に努めた。

## 阿桜園の利用状況

### 1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	R4. 3. 31		R5. 3. 31		R4. 4～R5. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援(阿桜園)	60	58	60	56	19,938	54.7
施設入所支援(あざくら園)	40	39	40	37	13,673	37.5
生活介護(阿桜園)	70	76	70	74	16,185	60.2
生活介護(あざくら園)	40	41	40	38	10,175	37.9
福祉型障害児入所	5	5	5	4	1,784	4.9
共同生活援助(GH希望Ⅰ)	5	5	5	5	1,821	5.0
共同生活援助(GH希望Ⅱ)	5	5	5	5	1,806	5.0
短期入所	4	—	4	—	7	0.1
児童発達支援	10	0	10	0	0	0.0
放課後等デイサービス		11		21	1,420	6.9
放課後等デイサービス	10	13	10	21	1,386	5.9

種別	R4. 4～R5. 3延件数
相談支援(児童含)	718
日中一時支援	311
障害児等療育支援	268

### 2. 利用者の状況（令和5年3月31日現在）

#### (1) 施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	0	9	20	39	68
女	0	0	0	0	1	6	18	25
計	0	0	0	0	10	26	57	93

#### 年齢構成（障害児入所・施設入所）

区分	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80以上	計
男	2	5	13	22	17	5	5	1	70
女	2	5	4	3	6	2	3	2	27
計	4	10	17	25	23	7	8	3	97

#### (2) グループホーム

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	1	0	0	3	1	0	0	5
女	0	0	1	1	1	2	0	5
計	1	0	1	4	2	2	0	10

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	1	1	2	1	0	0	0	5
女	0	0	2	1	1	0	1	5
計	1	1	4	2	1	0	1	10

## 重点的な取組

### ①充実したサービス提供の確立

- ・圏域の新型コロナウイルス等の感染症発生動向を見極めながら、可能な限り各事業の運営を継続したが、施設内感染拡大により就労継続支援B型事業及び通所の生活介護事業は約1ヶ月の事業中止となった。
- ・タブレット導入により、利用者通院時、主治医に対し普段の様子等の情報提供がより適切に行えるようになった。
- ・令和4年11月に特殊浴槽の設置が完了した。また、湯沢雄勝広域市町村圏組合に要望していた施設引き込みの水道配管口径拡大工事も実施され、入浴支援体制の改善が出来た。
- ・放課後等デイサービス事業所を本体施設から離し、地域の高齢者福祉施設の一角を改修して移転することで、感染症の影響なく安定的な運営が出来る体制を整えた。

### ②利用者満足度の向上と人材育成

- ・事業所内におけるOJT研修に加え、利用者支援におけるスピーチロックに着目した研修を全職員対象に実施し、対人支援における意識改革を実施した。
- ・法人内実施のキャリアパス研修の受講や職員間のコミュニケーション向上研修（ウェルビーイング研修）を行い、職場環境の改善に繋がった。
- ・感染症の影響により対外的な研修参加は出来なかったが、デジタル技術導入による業務効率化研修等の受講により、業務負担改善視点のヒントを得ることが出来た。

### ③利用者の権利擁護と虐待防止

- ・法人主催の研修受講や支援アドバイザーからの利用者特性に関する助言を得たことに加え、事業所内での演習を交えた研修実施による職員の支援スキルの向上に努めた。
- ・虐待防止の取組について、第三者委員以外の地域の関係機関からの検証を行うために、虐待防止特別委員会を開催し、今年度の当園の様々な取組について説明し、適正な対応として評価を受けた。

### ④公益的活動と広報活動の充実

- ・地域の各関係機関との会合等に職員が参加するとともに、在宅の障がい者の余暇活動支援として休日の活動を提供した。感染症の影響により中止したこともあった。
- ・感染症拡大防止対策として外出等を控える期間が長かったが、前年度に引き続き地元の農家の協力を得て農作物の植え付けから収穫、その間の除草作業などを屋外で活動することが出来た。それにより閉鎖的な生活からの一時的な開放によるリフレッシュが可能となり、生活に潤いを与えることが出来た。

## やまばと園の利用状況

### 1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	R4. 3. 31		R5. 3. 31		R4. 4～R5. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援	60	60	60	57	20,127	55.1
生活介護	50	68	50	67	15,385	42.3
就労継続B型	10	10	10	10	2,077	7.7
共同生活援助（GHばってりー）	5	5	5	5	1,817	5.0
短期入所	8	—	8	—	96	0.3
放課後等デイサービス	10	16	10	16	1,896	7.9

種 別	R4. 4～R5. 3延件数
相談支援（児童含）	400
日中一時支援	16
障害児等療育支援	177

### 2. 利用者の状況（令和5年3月31日現在）

#### （1）施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	0	8	11	18	37
女	0	0	0	1	1	9	9	20
計	0	0	0	1	9	20	27	57

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	7	6	16	5	0	3	0	37
女	0	1	5	7	2	2	3	20
計	7	7	21	12	2	5	3	57

#### （2）グループホーム

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	1	0	2	2	0	5
女	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	1	0	2	2	0	5

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	1	2	2	0	0	0	0	5
女	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	2	2	0	0	0	0	5

## 重点的な取組

### ①安定した自立経営の継続

- ・終末期医療が必要な方や高齢利用者への情報提供を関係機関と連携しながら進め、適切な施設移行・検討を行った。
- ・短期入所利用者は希望者も増加傾向にあり、関係機関との調整により、定期的な利用へ結びつけることが出来た。
- ・床走行式電動介護リフト及び特殊浴槽用ストレッチャーを導入し、介護負担の軽減を図った。光熱水費の管理は、毎月の運営会議で使用量の確認を行い、節電・節水等の協力を求めながら進めた。
- ・家族懇談会はコロナ禍であることを踏まえ、出身地域毎に開催し、施設の運営及び利用者支援等に係る情報を提供し、意見交換を行い、好評を得ることが出来た。

### ②職員の資質向上

- ・利用者特性の理解についての研修の実施、意思決定支援研修に参加した職員の伝達研修及び日誌等の記録への助言等により、意思表示への気付きを促し、意思決定支援のスキルアップに努めた。
- ・権利擁護・虐待防止研修の実施、隔月毎の不適切支援の有無の検証と改善策の検討を通して権利擁護の視点を養い、他職員の考えを知ることにより、他者を幅広い視点で認めることの大切さに気付くことができるよう努めた。

### ③公益的活動

- ・コロナ禍により特殊浴槽の開放には至らなかったが、関係機関等からの問い合わせがあり、地域ニーズとして入浴に困難を抱えている方々がいることの情報を得ることが出来た。
- ・特殊浴槽開放以外の活動は、職員全員で施設に繋がる市道・歩道の除草作業を行った。

### ④緊急体制の整備

- ・BCP計画の作成、マニュアル改正、利用者情報のまとめと併せて整備を進めた。
- ・新型コロナウイルス等の感染症対策は、研修や実地訓練を行いながらコホーティングの見直しを図り、職員一人ひとりの周知理解を図った。また、新型コロナウイルス感染症対策の指標を作成し、利用者や職員の協力を得ながら進めた。

## 障害者支援センター御所野の利用状況

### 1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	R4. 3. 31		R5. 3. 31		R4. 4～R5. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援	40	39	40	40	14,098	38.6
生活介護	40	42	40	45	10,975	31.0
短期入所	2	—	2	—	484	1.6

種 別	R4. 4～R5. 3延件数
日中一時支援	0

### 2. 利用者の状況（令和5年3月31日現在）

#### （1）施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	0	11	9	6	26
女	0	0	0	1	1	6	6	14
計	0	0	0	1	12	15	12	40

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	3	3	2	4	10	4	0	26
女	0	1	3	4	6	0	0	14
計	3	4	5	8	16	4	0	40

## 重点的な取組

### ①貸出数減少要因の調査、分析

- ・令和年4度末の個人登録者数は708名で増減なしであった。
- ・貸出は、前年度比で点訳図書は363タイトルで5%減、デージー図書は5,750タイトルと21%の減、音訳図書は67タイトルと30%減であった。
- ・定期刊行物は38タイトルを延べ4,362人に提供した。
- ・貸出数が前年度より減少している傾向にあるが、点訳図書については、利用者の高齢化による身体機能低下により、指先で点字が読めない方が増えてきているための減少と思われる。音訳図書については、デージー図書への移行が進んできているためと思われる。また、デージー図書については、インターネットで直接サピエ図書を利用する方が増えたためと思われる。

### ②スムーズな図書供給のための奉仕員の養成

- ・当館登録奉仕員は、点訳101名、音訳63名、音声校正7名、デージー編集9名、テキスト化12名、作業13名の計205名。
- ・今年度は点訳及び音訳奉仕員養成講座を実施し12名が修了した。また前年度修了者14名に対し、修了後の指導助言を行い育成に努めた。
- ・製作は、前年度比で点訳図書は165タイトルで1%減、デージー図書は109タイトルで2%減、テキストデージーは83タイトルで207%増であった。
- ・点訳及び音訳奉仕員にパソコンと編集ソフト等を貸出し、蔵書等の製作活動を積極的、継続的にできる活動環境を整えるよう努めた。

### ③点字図書館のPR及び当事者団体及び関係機関との連携

- ・小学生の点字学習（4校・対象127名）へ延8名の奉仕員を派遣した。また小学生の体験学習として4校82名を受け入れた。
- ・中学生の職場体験（2校）の受け入れを行った。
- ・県内ボランティアグループの勉強会への講師派遣や技術指導等の依頼に協力した。
- ・館主催のイベントの「プチッと点字体験」は2件実施し、共催事業として「まなびピア2022 in大館」と第22回心いきいき芸術文化祭で実施した。
- ・館主催の「夏休み点字図書館探検」は小学生17名、大人13名が参加し、児童の総合学習と県民への啓発をすることができた。
- ・県条例の推進で「小中学生向け障害理解教室」（点字学習）を小学校（1校）で行った。
- ・秋田県発行の「障害者差別解消ハンドブック（一般向け・小学生向け）」の点字本と録音CDの製作の協力を行った。
- ・「秋田県版スマートサイト推進委員会」、「秋田県図書館等連絡会」等へ参画する機会を利用して当館の情報提供を行った。

点字図書館の利用状況

1. 図書受入状況

令和4年4月～令和5年3月

区分	点字図書		テープ録音図書		デージー図書		テキストデージー		合計		タイトル 構成比
	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	
厚生省委託	32	76	0	0	55	55	0	0	87	131	19.16%
自館制作	165	544	0	0	109	109	83	83	357	736	78.63%
複製	0	0	0	0	10	10	0	0	10	10	2.20%
購入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
寄贈	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
計	197	620	0	0	174	174	83	83	454	877	100.00%

2. 分類別貸出状況

区分	点字図書 (含、FD)		録音図書 (テープ)		音声デージー (CD)		テキストデージー (CD)		合計		タイトル 構成比
	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	
0 総記	2	9	1	10	25	25	0	0	28	44	0.45%
1 哲学	16	41	0	0	105	105	0	0	121	146	1.96%
2 歴史	5	24	0	0	77	77	0	0	82	101	1.33%
3 社会科学	7	23	0	0	186	187	0	0	193	210	3.12%
4 自然科学	7	28	3	25	114	114	0	0	124	167	2.01%
5 技術	5	17	4	52	13	13	0	0	22	82	0.36%
6 産業	1	4	1	3	9	9	0	0	11	16	0.18%
7 芸術	20	35	1	5	87	87	0	0	108	127	1.75%
8 言語	1	4	0	0	17	17	0	0	18	21	0.29%
9 文学	299	1,179	57	438	5,117	5,125	0	0	5,473	6,742	88.56%
合計	363	1,364	67	533	5,750	5,759	0	0	6,180	7,656	100.00%

## 重点的な取組

### ①事業運営体制の構築

・運営開始から3年が経過し、日常的な業務については見通しを立てて取り組める状態になっている。しかし、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況等もあり、計画した活動が制限されることが多く、本来の運営体制での活動は難しい状況であった。

### ②各種事業の円滑な実施

・手話通訳者養成研修会Ⅰは横手市で7名、手話通訳者養成研修会Ⅱは秋田市で11名、手話通訳者養成研修会Ⅲは大館市を会場に4名がそれぞれ受講し全員が修了した。  
また、今年度新たな取り組みとして手話通訳者試験対策講座を実施し10名が参加した。

12月3日には手話通訳者全国統一試験を実施し、14名が受験。2名が合格となった。

・要約筆記者養成講座に関しては、今年度は手書きでの養成講座を8名で実施し、7名が修了した。11月と12月に要約筆記者認定試験対策講座を開催し、2月19日には、要約筆記者認定試験を実施した。パソコン10名、手書き4名、それぞれに重複2名（実人数計12名）が受験。パソコンは合格者なし、手書きは5名が合格となった。

・盲ろう者向け通訳・介助員養成研修は、派遣通訳介助事業の利用者である盲ろう当事者が住む能代市で開催した。4名の受講生を対象として実施し4名全員が修了した。昨年度に引き続き、当事者の方を講師として招聘した。

### ③人材育成

・昨年度に引き続きコロナ禍という状況で、他県の聴覚障害者情報提供施設の視察研修を断念し、オンラインでの会議、研修参加となった。新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、来年度には東北地区を中心に、他県の聴覚情報提供施設の視察を実施し、より良い運営の足掛かりとしたい。

・意思疎通支援者登録試験（手話通訳者）受験資格取得者に対して、初めて試験対策講座を実施した。今年度の修了者のみではなく、以前に試験を受験して不合格となった者も対象とすることで、受験者数の底上げを図った。参加者の反応は上々であったため、来年度以降も形式や回数を見直して実施したい。

## 聴覚障害者支援センターの利用状況

	令和4年度実績												前年度 実績
	相談 件数	相談種別			相談内訳								
		電話・FAX	来所	訪問等	施設	生活	福祉サービス	年金・手当	医療・保健	職業	補装具	その他	
4月	21	5	13	3	0	10	0	0	1	0	0	10	26
5月	17	1	15	1	0	8	0	2	3	0	0	4	11
6月	24	1	20	3	0	12	2	0	0	1	0	9	15
7月	19	1	13	5	1	9	1	0	0	0	0	8	17
8月	15	0	15	0	0	8	3	0	1	0	0	3	13
9月	13	0	11	2	0	8	0	0	0	1	0	4	6
10月	16	1	14	1	0	14	0	0	0	0	0	2	19
11月	28	0	24	4	0	20	0	0	1	1	0	6	13
12月	23	0	22	1	1	17	0	0	2	1	0	2	4
1月	14	0	14	0	0	11	0	0	0	0	0	3	12
2月	19	3	15	1	0	9	1	0	0	1	0	8	14
3月	39	13	21	5	2	18	0	0	0	2	0	17	22
合計	248	25	197	26	4	144	7	2	8	7	0	76	172

(相談件数：延人数)

年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	関係機関	不明	合計
年間件数	7	1	18	11	6	35	121	16	31	2	248

(男女年代：実人数)

年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	関係機関	不明	合計	
男女別	男性	0	1	9	4	1	6	31	10	2	1	65
	女性	6	0	2	2	2	11	31	4	21	1	80

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
月	5	6	8	5	2	1	4	6	4	4	7	14	66
火	6	5	4	6	3	2	5	3	7	5	3	10	59
水	2	3	5	4	1	5	1	10	6	2	6	5	50
木	4	2	2	0	5	3	3	4	3	0	1	6	33
金	4	1	5	3	4	2	3	5	3	3	2	4	39
土	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	21	17	24	19	15	13	16	28	23	14	19	39	248



### Ⅲ 公益的な取組



## 地域における公益的な取組

施設名（法人 事務局）

事業名	秋田たすけあいネットあゆむとの共同活動
事業概要	<p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人との共同活動を通じ、地域が真に求める福祉ニーズを法人の活動にフィードバックする。</li> </ul> <p>&lt;対象者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同活動であるためNPO法人のコンセプトに合わせた「助けを求める人」全てを対象とする。</li> </ul> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たすけあいネットあゆむと秋田市のコンビニエンスストア約40店舗がフードボックス設置の契約をしたことに伴う、定期的な回収作業を中心に行う。</li> <li>・中央地区老人福祉総合エリアに設置したフードボックスによる食料品支援も行う。</li> </ul>
年間事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回程度秋田市内ファミリーマートのフードボックスの確認・回収作業を行う。</li> </ul>
関係機関や団体等との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人秋田たすけあいネットあゆむと、フードボックス設置店舗からの回収依頼状況や関係機関が発行するパンフレットの補充について適宜連絡調整を行った。</li> </ul>
支出額	—
事業担当職員	所属（ 経営管理課 ） 氏名（ 古関 孝順 ） 所属（ 経営管理課 ） 氏名（ 東海林 航 ）
事業の総評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田市内コンビニエンスストアに設置されているフードボックスに寄付された食料品を毎月1回以上計15回、段ボール計45箱程度回収した。</li> <li>・中央地区老人福祉総合エリアに設置したフードボックスに寄附されたレトルト食材、米、ジュース、調味料等延べ35品目以上を納品した。</li> </ul>

## 地域における公益的な取組

施設名（高清水園）

事業名	地域生活サービス利用者交流事業
事業概要	<p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍ではあるが三密を避け感染予防策を講じながら地域における公益的な活動の一環として屋外でのクリーンアップ活動と除雪活動を行う。活動を通して近隣住民との交流を図り、相互に理解を深めることを目的とする。</li> </ul> <p>&lt;対象者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高清水園利用者と職員、地域住民（近隣の町内会）、ボランティア他</li> </ul> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回実施することとし、秋季はサポートセンター所在地周辺町内の道路脇や歩道の清掃活動、冬季は歩道の除雪を行い特に小学生の通学路確保に協力する。</li> </ul>
年間事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施内容 実施日：令和4年7月29日（金） 内 容：高清水園周辺クリーンアップ活動（ゴミ拾い、空き缶回収） 参加者：利用者5名職員3名</li> <li>・令和4年6月と令和5年1月に実施を予定したサポートセンター及び近隣小学校周辺の清掃活動と除雪活動は新型コロナウイルス感染症流行に伴い中止とした。</li> </ul>
関係機関や団体等との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページで告知するほか、該当町内会に文書にて協力を呼び掛ける予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の恐れがあるため広報せず、事業を実施する場合は利用者及び職員で活動することとした。</li> </ul>
支出額	1,205円
事業担当職員	所属（ 支援課 ） 氏名（ 加賀谷 淳志 ）
事業の総評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染者発生状況を考慮し高清水園単独で1回のみ実施となった。</li> <li>・近隣住民の理解や信頼を得ることにつながる機会でもあることから可能な限り継続した活動としていく。</li> </ul>

## 地域における公益的な取組

施設名（秋田県心身障害者コロニー）

事業名	令和4年度 ふれあい交流事業				
事業概要	<p>&lt;目的&gt; 「障がい児・者ふれあい交流事業」 地域で生活する障がいのある方や引きこもりの方々が余暇時間を有効に活用し、関りを深めながら、地域社会の中で安心して生活できる環境を作れるよう交流事業を推進していく。</p> <p>&lt;対象者&gt; 由利本荘市、にかほ市在住の地域の中で障がいをお持ちの方、その家族の方々を対象とする。 ※コロナ禍の為、過去2年に参加実績のある方のみを対象（15家族）とした。</p> <p>&lt;内容&gt; ・年2回（春・秋）、コロニー生産直売所「歩人」での就労継続支援B型事業と連携した即売イベントを開催。 ・コロニー行事委員会と共同で作品展示会を開催。ふれあい交流会参加者からは出品がなかったが、由利本荘地域生活支援センターの利用者からは多数の出品があった。 ・ふれあい交流イベントの開催については、コロナ禍であり密を避ける為過去2年間に参加実績のあった方への郵送案内及び、由利本荘地域生活支援センターへの情報提供に留めている。1月～3月の季節性感染症流行期外は定期的に実施計画を立てたものの、地域での新型コロナウイルス感染症流行状況を鑑み延期や中止とせざるを得ず、4イベントのみの開催であった。 ・地域住民向けの講演会についても、コロナ禍により開催の目途が立っていない。</p>				
年間事業内容	月日	実施内容	講師	会場	参加人数
	4/16	歩人即売イベント	-	歩人	142名
	5月	-	-	-	-
	6/18	ガーデニング教室	職員(就B)	西目公民館シーガル	10名
	7/16	絵はがき作り	職員	鶴舞会館	8名
	8月	手芸教室	-	-	10月に延期
	9月	ボウリング	-	はまなすファミリーボウル	中止
	10/15	歩人即売イベント	-	歩人	147名
	10/29	手芸教室(ハーバリウム作り)	-	ハーブワールド	8名
	11月	ふれあい交流会作品展示	-	コロニーホール	0名
	11/19	ミュージックセラピー	有	鶴舞会館	14名
	12月	アクセサリー作り(レジン工作)	職員	鶴舞会館	中止
	1月	-	-	-	-
	2月	-	-	-	-
	3月	次年度イベントの案内発送	-	-	-
			計	7事業	延べ329名

<b>関係機関や 団体等との 連携状況</b>	○ 由利本荘地域生活支援センター 情報提供 ※コロナ禍の為、過去2年間に参加実績のあった方にのみ募集案内を送付。
<b>支出額</b>	78,981円
<b>事業担当職員</b>	所属（ 赤光支援課 ） 氏名（ 高橋 孝幸 ）
<b>事業の総評</b>	地域で生活する障がいのある方を対象とし定期的にふれあい交流イベントを計画したが、コロナ禍により延期や中止となるが多かった。また、案内については、過去2年間に参加実績のあった方に対する郵送案内と、由利本荘地域生活支援センターへの情報提供に留めている。不定期な開催ではあったが定番企画と新企画があり、参加者からは好評を得た。 コロニー就労継続支援B型事業と連携した「歩人イベント」については年2回予定どおり開催することができた。西目地域限定ではあったがイベント案内を新聞折込にしたことで、天候不良ではあったものの来場者も多く賑わった。また、イベントも地域に定着してきている。 ふれあい交流イベントについて、コロナ禍により案内対象者を限定したことで参加者が定着してきているが、今後新型コロナウイルス感染症が感染症法上2類感染症から5類に変更となった場合、コロナ禍以前のように広域に情報提供していくか現状を維持していくか等検討していく必要がある。

## 地域における公益的な取組

施設名（秋田県心身障害者コロニー）

事業名	令和4年度 職場体験学習受入れ事業
事業概要	<p>&lt;目的&gt; 生徒が直接働く人と接することにより、また、実際的な知識や技術・技能に触れることを通して、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生きることの尊さを実感してもらえ、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意思、意欲など培う教育活動の場を提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校訪問</li> </ul> <p>鳥海中学校の生徒を対象に、障がいや福祉への関心・理解を深めることを目的に出前講座を実施する。中学生という多感な時期に、障がいについての正しい理解や興味を持ってもらうことで、思いやりや共に支え合う気持ちを育む。職業意識が芽生える大事な時期でもあり、将来の福祉人材の確保にも繋げていく。</p> <p>&lt;対象者&gt; 由利本荘市、にかほ市の中学生・高校生 県立大学・看護学校・秋田大学・公立美術大学等の学生 鳥海中学校</p> <p>&lt;内容&gt; 由利本荘市及びにかほ市の中・高校生を対象に職場体験学習の機会を提供し、介護等の体験や施設利用者とのふれあうことで、その体験を通して障がい者の理解と関心の増進を図る。 出前講座の内容については、中学校の授業の一環である「総合学習」等の一コマで、「障がいや福祉」「福祉施設の仕事」について、講義やグループワークを通して障がいや福祉の理解と関心の増進を図る。</p>
年間事業内容	地域貢献活動としては、コロナ禍により中止。
関係機関や団体等との連携状況	コロナ禍により中止。
支出額	—
事業担当職員	所属（ 赤光支援課 ） 氏名（ 高橋 孝幸 ）
事業の総評	コロナ禍により中止。

## 地域における公益的な取組

施設名（由利本荘地域生活支援センター）

事業名	発達障がい（自閉症スペクトラム・ADHD等）のある児童への支援方法についての研修
事業概要	<p>&lt;目的&gt; 発達障がい（自閉症スペクトラム・ADHD等）のある児童等に対しての支援方法等について理解を広める。</p> <p>&lt;対象者&gt; 本荘地区保育園の主任保育士</p> <p>&lt;内容&gt; 講師派遣</p>
年間事業内容	<p>本荘地区主任保育士研修会への講師（野荒博幸係長、伊藤真樹相談支援専門員）派遣 令和4年8月30日（火）実施 市内10保育園参加</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい児支援に関わる制度の概要について</li> <li>・障がい児支援の実際について</li> </ul>
関係機関や団体等との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本荘地区の主任保育士会からの依頼をうけて研修講師を派遣した。</li> </ul>
支出額	—
事業担当職員	所属（管理支援課） 氏名（野荒 博幸）
事業の総評	<p>・当初は保護者等を対象としたペアレントトレーニング等の実施を検討していたが、新型コロナウイルスの感染状況等を勘案して集合型の研修は実施しなかった。代替として、市内の主任保育士研修会（オンライン）に職員を派遣し、障がい児支援の理解促進に務めた。</p>

## 地域における公益的な取組

施設名（阿桜園）

事業名	地域生活交流活動事業
事業概要	<p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での余暇活動の支援が必要な障がい児者等を対象に日中活動の機会を提供し、生活の質及び社会生活力の向上を図る。</li> </ul> <p>&lt;対象者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の余暇活動への支援が必要な障がい児者、ひきこもり状態にある方等。</li> </ul> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿桜園の体育館及び付属設備を提供するとともに講師を依頼して活動を行う。</li> <li>・余暇の充実と社会生活力の向上を図る。</li> </ul>
年間事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年5月29日（日）「スポレク教室」 4名参加、担当職員4名（運転含）、講師4名</li> <li>・令和4年8月28日（日）「わくわく科学実験教室」 感染症の流行により中止</li> <li>・令和4年11月27日（日）「ダンス教室」 感染症の流行により中止</li> <li>・令和5年2月26日（日）「書道教室」 5名参加、担当職員4名（運転含）、講師1名</li> </ul>
関係機関や団体等との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余暇活動支援について、関係機関、事業所へPR活動を行った。また、安全に実施するために参加者が利用している事業所等との連携を図った。</li> </ul>
支出額	75,500円
事業担当職員	所属（ 地域支援課 ） 氏名（ 桜庭 祥央 ）
事業の総評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の流行状況等を考慮し、体調確認や検温、消毒を実施しながら、スポレク教室、書道教室を開催することができ、参加者のみなさんに楽しんでいただくことができた。</li> </ul>

## 地域における公益的な取組

施設名（湯沢雄勝広域市町村圏組合やまばと園）

事業名	交流サロンホップ！
事業概要	<p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域に居住している障がいを持った方々に対して、余暇活動参加の機会を設けて充実した生活の一助となるように実施する。</li> </ul> <p>&lt;対象者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湯沢雄勝圏域に居住している障がいのある方</li> </ul> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 スポーツレクリエーション活動</li> <li>・第2回 まんが美術館訪問</li> <li>・第3回 フラワーアレンジメント</li> <li>その他、調理実習等も予定</li> </ul>
年間事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 スポーツレクリエーション活動</li> <li>・第2回 まんが美術館訪問</li> <li>・第3回 フラワーアレンジメント</li> </ul> <p>年間5回程度を予定していたが、感染症拡大防止対策として中止した回もあった。</p>
関係機関や団体等との連携状況	<p>開催案内通知に関して、圏域内の相談支援事業所及び就労継続支援B型事業所、グループホーム、基幹相談支援センター、社協などに情報提供及びポスター掲示の依頼をしている。</p>
支出額	99,500円
事業担当職員	所属（支援課） 氏名（藤原文子）
事業の総評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の関係機関へ通知案内の掲示や周知を依頼しているが参加者が固定されつつあり、今年度の新規参加者は2名ほどであった。ただ、次の開催日程の問合せがあるなど楽しみにしている方もおり、内容を再検討しながら継続実施を考えている。</li> </ul>

## 地域における公益的な取組

施設名（障害者支援センター御所野）

事業名	特殊浴槽の開放他
事業概要	<p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で生活している入浴に困難を抱えている方に、安心して入浴できる場を提供する。</li> <li>・施設全体で地域貢献できる活動（ゴミ拾い、除草等環境整備）を行う。</li> </ul> <p>&lt;対象者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特殊浴槽開放～御所野近辺の重症心身障害児者他希望者</li> </ul> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>特殊浴槽の開放</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・午前、午後それぞれ1家族とする。</li> <li>・施設では機械操作と見守りを主とし、家族とゆっくりミスト浴の時間を楽しんでもらう。</li> <li>・入浴後に簡単なアンケートに応じてもらう。</li> </ul> <p>環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当施設までのアクセス道路沿いで行う。</li> <li>・利用者との散策の機会を利用して、沿道のゴミ拾いを行う。</li> </ul>
年間事業内容	<p>特殊浴槽の開放</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染者の増加により、施設内への地域の方々の受入れを制限した経緯があったため開放に至っていない。</li> </ul> <p>環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回（6/11, 10/22）ゴミ拾い、除草を行う。</li> </ul>
関係機関や団体等との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所からは特殊浴槽の開放について問い合わせがあった。</li> <li>・秋田市役所都市整備部に実施前に連絡し、調整を図った。</li> </ul>
支出額	20,926円
事業担当職員	所属（支援課）氏名（高瀬 良平）
事業の総評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所からの問い合わせがあり、地域で入浴に困難を抱えている方がいることの把握ができた。</li> <li>・除草作業に取り組み、アクセス道の安全や美化に貢献できた。</li> </ul>

## 地域における公益的な取組

施設名（秋田県点字図書館）

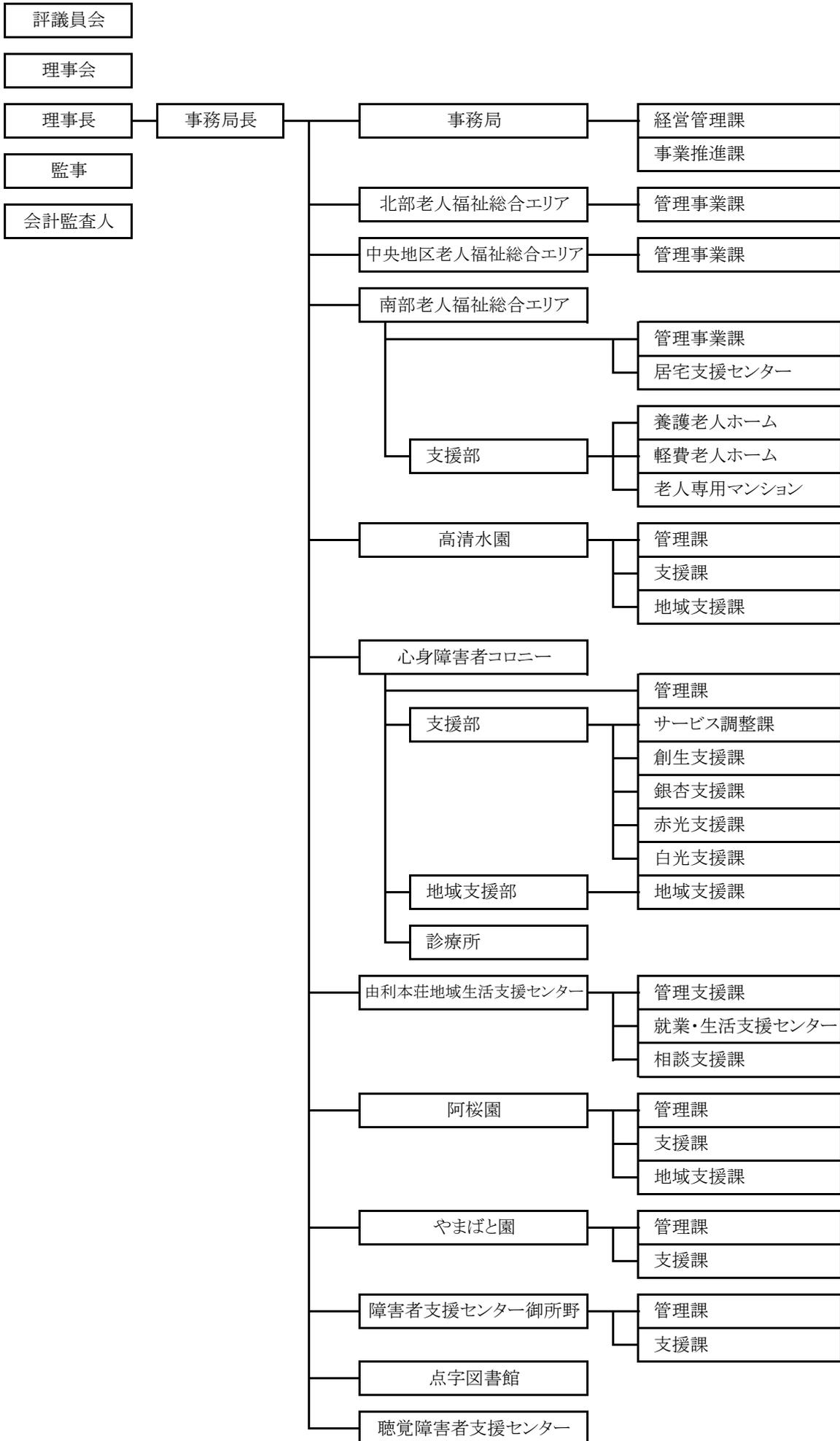
事業名	プチッと点字体験
事業概要	<p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「秋田県手話言語、点字等の普及等による円滑な意思疎通の促進に関する条例」、「秋田県障害者差別解消条例」に鑑み、点字を知る晴眼者を増やし、視覚障がい者とのコミュニケーションや支援することができる県民を増やすことを目的に当館で可能な活動を実施</li> </ul> <p>&lt;対象者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民全般</li> </ul> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点字の学習と体験             <ol style="list-style-type: none"> <li>①点字五十音表を用いて点字の構成を学習</li> <li>②簡易点字器（凸面点字器）を使用し、色々な形の紙に名前などを打ってリボンを付けしおりを作った。</li> <li>③日常生活や身の回りで点字が表示されている物を知る。</li> </ol> </li> </ul>
年間事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み点字図書館探検             <ul style="list-style-type: none"> <li>8月4日 小学生10名 大人8名</li> <li>8月6日 小学生7名 大人5名</li> </ul> </li> <li>・点字体験学習受入             <ul style="list-style-type: none"> <li>6月27・28日 土崎南小学校 4年生 56名</li> <li>10月28日 大仙市清水小学校 4年生 14名</li> <li>12月15日 下北手小学校 4年生 12名</li> </ul> </li> </ul>
関係機関や団体等との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県障害福祉課</li> <li>・秋田県視覚障害者福祉協会</li> <li>・秋田県障害者社会参加推進センター</li> <li>・県内各市町村</li> <li>・法人内事業所等</li> </ul>
支出額	—
事業担当職員	氏名（ 岩田 陽子 ）
事業の総評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大予防対策に努めながら、館内では「夏休み点字図書館体験」、「小学校の点字体験学習の受入」を開催した。</li> </ul>

# 資 料



# 1. 組織

令和5年3月31日現在



## 2. 施設の概要

令和5年3月31日現在

種別	施設名	所在地	主なサービス	定員	備考	
老人福祉 総合エリア	秋田県北部老人福祉総合エリア	大館市	コミュニティセンター		指定管理	
	秋田県中央地区老人福祉総合エリア	秋田市	コミュニティセンター		指定管理	
	秋田県南部老人福祉総合エリア	横手市	コミュニティセンター			指定管理
			養護老人ホーム	50		
			軽費老人ホーム（特定含）	50		
			老人専用マンション	24	指定管理	
			居宅支援センター			
生きがい創作館		指定管理				
障害児者 支援施設	高清水園	秋田市	施設入所支援事業	88		
			生活介護事業	92		
			放課後等デイサービス	10	和く話く	
			グループホーム（6カ所）	30	うちサテライト2名	
	秋田県心身障害者コロニー	由利本荘市	施設入所事業	340		
			生活介護事業	350		
			就労継続支援B型事業	60		
			グループホーム（20カ所）	103	うちサテライト1名	
			診療所			
	由利本荘地域生活支援センター	由利本荘市	生活介護事業	20		
			児童発達支援事業	10	のびのび	
			放課後等デイサービス			
	放課後等デイサービス	10	ぐんぐん			
	阿桜園	横手市	施設入所支援事業	100		
			生活介護事業	110		
			福祉型障害児入所施設	5		
			児童発達支援事業	10		
			放課後等デイサービス			
			放課後等デイサービス	10	さくらっこ	
			グループホーム（2カ所）	10	うちサテライト0名	
湯沢雄勝広域市町村圏組合やまぼと園	湯沢市	施設入所支援事業	60			
		生活介護事業	50	指定管理		
		就労継続支援B型事業	10			
		放課後等デイサービス	10			
		グループホーム（1カ所）	5	うちサテライト0名		
障害者支援センター御所野	秋田市	施設入所支援事業	40			
		生活介護事業	40			
視聴覚障害者 情報提供施設	秋田県点字図書館	秋田市	視覚障がい者への情報提供		指定管理	
	秋田県聴覚障害者支援センター	秋田市	聴覚障がい者への情報提供		県受託	

### 3. 施設のサービス利用状況

利用者は各年度3月31日現在の契約者数 件数は年間の延べ件数

障がい者

#### 1 介護給付

施設名	施設入所				生活介護				短期入所			
	定員		利用者		定員		利用者		定員		利用者	
	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4
高清水園	88	88	84	81	92	92	92	87	8	8	5	4
心身障害者コロニー	340	340	324	318	350	350	308	300	5	5	8	6
由利本荘支援センター	—	—	—	—	20	20	39	35	—	—	—	—
阿桜園	100	100	97	96	110	110	117	115	4	4	1	1
やまばと園	60	60	60	57	50	50	68	67	8	8	4	4
支援センター御所野	40	40	39	40	40	40	42	45	2	2	20	25
合計	628	628	604	592	662	662	666	649	27	27	38	40

#### 2 就労継続支援

施設名	就労継続支援B型			
	定員		利用者	
	R 3	R 4	R 3	R 4
心身障害者コロニー	60	60	54	59
やまばと園	10	10	10	10

#### 3 地域生活支援

施設名	日中一時支援				障害児等療育支援			
	定員		利用件数		定員		利用件数	
	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4
高清水園	8	8	11	26	—	—	—	—
心身障害者コロニー	5	5	94	78	—	—	—	—
由利本荘支援センター	—	—	—	—	—	—	31	48
阿桜園	4	4	349	311	16	16	284	268
やまばと園	8	8	27	16	12	12	210	177
支援センター御所野	2	2	0	0	—	—	—	—

#### 4 相談支援

施設名	相談件数	
	R 3	R 4
高清水園	858	670
由利本荘支援センター	1,826	1,833
阿桜園	691	718
やまばと園	416	400

5 居住支援（共同生活援助）

施設名	ホーム名	グループホーム				サテライト型利用			
		定員		利用者		定員		利用者	
		R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4
高清水園 6カ所	結	5	5	5	4	1	0	1	0
	みのり	5	5	5	5	1	0	1	0
	さくら	5	5	5	5	1	0	1	0
	あおぞら	5	5	5	5	2	1	2	0
	こまち	4	4	4	4	1	1	1	1
	あすか	—	4	—	4	—	0	—	0
心身障害者コロニー 20カ所 ※御門A～虹は、令和3年度まで由利本荘地域生活支援センター所属	わかまつ	6	6	6	6	0	0	0	0
	やすらぎ	6	6	6	6	0	0	0	0
	そよかぜ	4	4	4	4	0	0	0	0
	はまなす	4	4	4	4	0	0	0	0
	まつかぜ	6	6	6	6	0	0	0	0
	しおさい	5	5	5	5	0	0	0	0
	なでしこA	5	5	5	4	0	0	0	0
	なでしこB	4	4	4	4	0	0	0	0
	かもめ	5	5	5	5	0	0	0	0
	御門A	5	5	5	5	0	0	0	0
	御門B	6	5	6	5	1	1	1	0
	清和A	5	5	4	4	0	0	0	0
	清和B	5	5	5	5	0	0	0	0
	朋A	5	5	3	4	0	0	0	0
	朋B	5	5	4	5	0	0	0	0
	めぐみ	6	6	6	6	0	0	0	0
	菖蒲	6	6	6	6	0	0	0	0
若菜	5	5	5	4	0	0	0	0	
三愛B	5	5	5	0	0	0	0	0	
虹	5	5	4	5	0	0	0	0	
阿桜園	希望I・II	10	10	10	10	0	0	0	0
やまばと園	ばってりー	5	5	4	5	0	0	0	0
合計	28カ所	142	145	136	135	7	3	7	1

障害児

施設名	施設入所支援				放課後等デイサービス・児童発達支援			
	定員		利用者		定員		利用者	
	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4
高清水園	—	—	—	—	10	10	23	23
由利本荘支援センター	—	—	—	—	20	20	59	59
阿桜園	5	5	5	5	20	20	24	42
やまばと園	—	—	—	—	10	10	25	16

高齢者

施設名	養護老人ホーム				軽費老人ホーム				老人専用マンション			
	定員		利用者		定員		利用者		定員		利用者	
	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4	R 3	R 4
南部老人福祉エリア	50	50	46	44	50	50	45	47	24	24	5	5

## 4. 役員等

令和5年3月31日現在

### (1) 評議員

氏名	役職名
島田 洋一	地方独立行政法人 秋田県立療育機構理事長
伊藤 英紀	社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会会長
田中 勉	公益社団法人 秋田県手をつなぐ育成会会長
白川 秀子	公益社団法人 秋田県看護協会会長
柴田 博	秋田看護福祉大学福祉学科教授
和田 士郎	一般社団法人 秋田県社会福祉士会会長
尾留川 等	社会福祉法人 つるまい福祉会 理事
秋山 尚子	社会福祉法人 秋田けやき会 理事長
神谷 長一	阿桜園保護者会会長

任期 令和3年6月25日 ～ 令和7年6月定時評議員会

### (2) 理事

氏名	役職名
関根 浩一	前秋田県信用保証協会会長
柴田 一宏	柴田一宏法律事務所長
太田 春海	秋田県民生児童委員協議会会長
高橋 美岐子	日本赤十字秋田短期大学特任教授
佐藤 寿美	秋田県社会福祉協議会常務理事
佐々木 薫	秋田県社会福祉事業団事務局長
阿部 由美子	秋田県心身障害者コロニー管理者
小野崎 和司	秋田県南部老人福祉総合エリア管理者

任期 令和3年6月定時評議員会 ～ 令和5年6月定時評議員会

### (3) 監事

氏名	役職名
田中 政博	元秋田市財務部長
戸嶋 正	元秋田県阿桜園長

任期 令和3年6月定時評議員会 ～ 令和5年6月定時評議員会

### (4) 会計監査人

法人名	所在地
公認会計士河野隆治事務所	秋田市泉中央1丁目2番15号

任期 令和4年6月定時評議員会 ～ 令和5年6月定時評議員会

## 5. 会議等

### (1) 評議員会

開催年月日	出席者数		決議・協議事項
	評議員	理事	
令和4年6月28日	8	1	1 令和3年度事業報告及び決算 2 正職員の定年延長(案) 3 理事の選任 4 会計監査人の選任

### (2) 理事会

開催年月日	出席者数		決議・協議事項
	理事	監事	
令和4年6月2日	8	2	1 令和3年度事業報告及び決算 2 理事の選任 3 会計監査人の選任及び報酬 4 定時評議員会の開催 5 新型コロナウイルス感染症の状況 6 渉外費及び研修研究費の執行状況 7 正職員の定年延長(案)
令和4年7月27日			1 令和4年度第1次補正予算(案)(みなし決議) 2 職員就業規則の一部改正(みなし決議) 3 継続雇用職員就業規則の一部改正(みなし決議) 4 有期契約職員就業規則の一部改正(みなし決議) 5 無期契約職員就業規則の一部改正(みなし決議) 6 会計規則の一部改正(みなし決議)
令和4年10月31日	8	2	1 令和4年度第2次補正予算(案) 2 組織規則の一部改正 3 職員就業規則の一部改正 4 職員給与規則の一部改正 5 秋田県心身障害者コロニーグループホームの整備 6 新型コロナウイルス感染症の状況 7 職員の採用状況
令和5年1月20日			1 令和4年度第3次補正予算(案)(みなし決議)
令和5年3月17日	8	2	1 組織規則の一部改正 2 職員就業規則の一部改正 3 職員の育児・介護休業等に関する規則の全部改正 4 職員給与規則の一部改正 5 継続雇用職員就業規則の一部改正 6 有期契約職員就業規則の一部改正 7 無期契約職員就業規則の一部改正 8 臨時的短期間雇用職員就業規則の一部改正 9 令和4年度第4次補正予算(案) 10 令和5年度事業計画(案) 11 令和5年度当初予算(案) 12 施設長等の任命 13 役員賠償責任保険への加入 14 職員採用計画 15 資金運用

## (3) 施設長会議

開催年月日	内 容
令和4年5月26日	1 令和3年度事業報告及び決算 2 正職員の定年延長 3 施設長会議のあり方 4 新型コロナウイルス感染症に係る特別手当の支給 5 BCP(事業継続計画) 6 理事会議案等 7 障害者雇用の状況 8 新型コロナウイルス感染症への対応 9 時間外労働の削減及び休暇取得の促進 10 労働災害防止の取組 11 職員採用
令和4年8月3日	1 誤薬事案 2 新型コロナウイルス感染症対策 3 労働災害防止 4 定年延長(案) 5 給食システムの更新 6 人事評価制度 7 施設長会議のあり方 8 職員採用試験 9 障害者雇用の状況 10 年次有給休暇の時季指定 11 職員提案
令和4年10月21日	1 令和4年度第2次補正予算(案) 2 定年延長に係る規則改正(案) 3 社会福祉充実計画 4 コロニーグループホームの整備 5 地域密着型外部評価事業 6 タブレット記録アプリ 7 人事評価制度 8 情報システムの管理 9 職員表彰 10 職員提案 11 新型コロナウイルス感染症対策 12 理事会議案等 13 職員採用試験の状況 14 企業認定 15 利用者に係る新型コロナウイルス感染症に係る保険請求等
令和4年12月23日	1 職員提案 2 職員表彰及び懲戒 3 情報システムの管理要綱(案) 4 労務管理の取扱 5 人材確保の取組 6 南部エリア及びコロニーのあり方検討 7 各事業における職員配置 8 新型コロナウイルス感染症対策 9 内部経理監査結果 10 職員採用状況
令和5年2月7日	1 職員提案 2 第三者評価の受審 3 カメラの設置

令和5年2月7日	4 新型コロナウイルス感染症への対策 5 職員研修規程改正(案) 6 地域密着型サービス外部評価内部調査員対応 7 給与事務の取扱い 8 令和4年度第4回理事会議案等
令和5年3月2日	1 令和4年度第4次補正予算(案) 2 令和5年度事業計画(案) 3 令和5年度当初予算(案) 4 規則改正(案)等 5 福祉サービス第三者評価の受審 6 コロニーグループホームの再編整備 7 カメラ設置に係る基本方針 8 令和5年度職員採用計画(案) 9 新型コロナウイルス感染症対策 10 資金運用 11 理事会議案等

(4) 監事の監査

開催年月日	内 容
令和4年5月30日	令和3年度事業報告及び決算

(5) 会計監査人の監査

開催年月日	実施箇所	内 容
令和4年5月6日 ～5月10日	事 務 局	令和3年度決算に係る期末監査
令和4年5月30日	事 務 局	令和3年度事業報告及び決算
令和4年11月7日 ～11月11日	各 施 設	会計拠点区分の期末監査
令和5年1月18日、25日 令和5年3月17日	監査人事務所	会計拠点区分の期末監査
令和5年3月27日	事 務 局	会計拠点区分の期末監査

## 6. 職員

### 1. 職員の配置状況

令和5年3月31日現在

区 分	正 職 員 ( 広 域 職 員)	正 職 員 ( 地 域 職 員)	継 続 雇 用	無 期 契 約	有 期 契 約	合 計
事 務 局	11	0	0	0	2	13
北 部 老 人 福 祉 総 合 エ リ ア	5	0	0	5	6	16
中 央 地 区 老 人 福 祉 総 合 エ リ ア	4	0	0	6	4	14
南 部 老 人 福 祉 総 合 エ リ ア	20	0	3	29	21	73
高 清 水 園	36	1	3	22	24	86
心 身 障 害 者 コ ロ ニ ー	117	1	11	99	64	292
由 利 本 荘 地 域 生 活 支 援 セ ン タ ー	12	0	3	9	19	43
阿 桜 園	42	2	3	32	36	115
や ま ば と 園	22	0	0	19	20	61
障 害 者 支 援 セ ン タ ー 御 所 野	18	1	0	1	8	28
点 字 図 書 館	2	0	1	3	3	9
聴 覚 障 害 者 支 援 セ ン タ ー	1	1	1	1	2	6
計	290	6	25	226	209	756

区 分	正 職 員 ( 広 域 職 員)	正 職 員 ( 地 域 職 員)	継 続 雇 用	無 期 契 約	有 期 契 約	合 計
施 設 長 等	13	0	2	0	0	15
課 長	20	0	0	0	0	20
事 務 員	34	0	2	24	14	74
支 援 員	182	6	16	145	121	470
保 健 師 ・ 看 護 師	18	0	1	3	7	29
栄 養 士	7	0	0	0	2	9
理 学 療 法 士	1	0	0	0	0	1
技 師	15	0	4	15	26	60
世 話 人	0	0	0	19	11	30
宿 直 専 門 員	0	0	0	15	16	31
そ の 他	0	0	0	5	12	17
計	290	6	25	226	209	756

### 2. 職員数の推移

令和5年3月31日現在

	平成29年度	平成30年度	平成元年度	平成2年度	令和3年度	令和4年度
正 職 員	297	302	298	302	296	296
継 続 雇 用 職 員	16	16	21	25	25	25
無 期 契 約 職 員	—	—	180	201	219	226
有 期 契 約 職 員	449	437	261	237	224	209
計	762	755	760	765	764	756

3. 正職員の採用実績等

令和5年3月31日現在

職種	採用区分	平成30	令和1	令和2	令和3	令和4	
福祉職	大学卒	広域職	2	6	4	6	2
		地域職			0	0	0
	短大卒	広域職	2	2	1	0	3
		地域職			0	0	0
	高校卒	広域職	4	0	2	2	2
		地域職			2	0	0
	職務経歴	広域職	5	6	2	0	1
地域職				5	0	1	
福祉職 計		13	14	16	8	9	
看護職	年度当初	2	3	1	0	1	
栄養士等		0	0	0	1	1	
技能職		0	0	0	0	0	
医師・看護職	年度中途	0	1	0	1	1	
栄養士等		0	0	0	0	0	
技能職		1	0	0	1	0	
専門職 計		3	4	1	3	3	
最近の採用実績 計		16	18	17	11	12	

職種	離職区分	平成30	令和1	令和2	令和3	令和4
福祉職	定年退職	13	6	5	4	7
看護職		2	0	1	1	1
栄養士等		0	0	0	0	0
技師		0	3	4	2	0
定年退職 計		15	9	10	7	8
福祉職	早期退職 (年度末)	4	2	4	2	3
医師・看護職		0	0	0	0	0
栄養士等		0	0	1	1	0
技能職		1	0	1	0	0
福祉職	早期退職 (年度中途)	1	2	2	1	0
医師・看護職		0	0	0	0	2
栄養士等		0	0	0	0	0
技能職		2	0	0	0	0
早期退職 計		8	4	8	4	5
最近の離職者数 計		23	13	18	11	13

職種	平成30	令和1	令和2	令和3	令和4
福祉職	251	247	253	251	254
医師・看護職	17	19	20	20	19
栄養士等	9	8	8	8	8
技能職	25	24	21	17	15
職員数 計	302	298	302	296	296

※栄養士等 栄養士、理学療法士、作業療法士

※各年度の集計人数は、年度末の定年退職者及び早期退職者（年度末）を含む。

## 7. 研修の実施状況

### 事務局

区分	研修名	開催日	参加人員(名)
キャリアパス対応研修	初任者コース	11/1～2	1名
資格・認定・加算対象研修	災害派遣福祉チーム員登録基礎研修	6/17～18	1名
	災害派遣福祉チームスキルアップ研修	10/31、11/4～5	1名
	災害派遣福祉チームスキルアップ研修	1/19～21	1名
一般研修等	法人・施設経営研修	3/28	1名
	法人・施設経営研修	3/30	1名
その他の研修	その他の研修		

### 秋田県北部老人福祉総合エリア

区分	研修名	開催日	参加人員(名)
キャリアパス対応研修	初任者コース	11/1	1名
階層別研修	新規採用職員研修	6/7	1名
分野別研修	その他の研修	8/1	1名
意識改革研修	権利擁護研修	5/17	1名
一般研修等	福祉サービス・知識・法令関係研修	4/18	7名
	接遇マナー研修	6/30	3名
	人事労務管理研修	8/4, 5	1名
	その他の研修	8/18	9名
	人事労務管理研修	9/1	1名
	人事労務管理研修	9/12	1名
	人事労務管理研修	9/14	10名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	10/19	1名
	その他の研修	11/10	11名
	実践発表会	12/16	5名
感染症対策研修	12/22	9名	
その他の研修	その他の研修		

### 秋田県中央地区老人福祉総合エリア

区分	研修名	開催日	参加人員(名)
キャリアパス対応研修	チームリーダーコース	2/16, 17	1名
資格・認定・加算対象研修	その他の研修	5/20	1名
階層別研修	その他の研修	4/5	1名
一般研修等	その他の研修	7/6	1名
	その他の研修	9/12	1名
その他の研修	その他の研修		

### 秋田県南部老人福祉総合エリア

区分	研修名	開催日	参加人員(名)
キャリアパス対応研修	初任者コース	11/1～2	1名
	中堅職員コース	6/23～24	1名
	チームリーダーコース	12/6～7	1名
	管理職コース	11/17～18	1名
資格・認定・加算対象研修	その他の研修	8月	2名
	その他の研修	7月、9月	2名
	その他の研修	3/7	1名
階層別研修	管理職研修	1/26～27	1名
	管理職研修	2/8	1名
	中堅職員研修	10/27	2名
	新任職員研修	4/13	5名
	新規採用職員研修	11/2	1名
	新規採用職員研修	2/1	2名

分野別研修	その他の研修	11/14	2名
	その他の研修	1/10～11	1名
	その他の研修	12/12	2名
	その他の研修	7/13	1名
	その他の研修	12/14	2名
	その他の研修	2/20	1名
	その他の研修	11/22	1名
	その他の研修	7/13	4名
	その他の研修	8/10	4名
意識改革研修	コーチング・ティーチング研修	12/7～8	1名
	リスクマネジメント研修	2/28	1名
	権利擁護研修	5/18	11名
	権利擁護研修	6月	全職員
	権利擁護研修	7/5, 14	22名
	権利擁護研修	10/14, 25	19名
	権利擁護研修	2/9	9名
一般研修等	実践発表会	12/16	6名
	救急救命講習	11/10	4名
	その他の研修	11/18	1名
	介護支援技術研修	11/16	4名
	救急救命講習	3/9	12名
	メンタルヘルス研修	2/21	16名
	感染症対策研修	11/15, 22	11名
	介護支援技術研修	2/28	16名
	介護支援技術研修	2/14	6名
	感染症対策研修	5/24	24名
	メンタルヘルス研修	6/14, 21	31名
	その他の研修	7, 10月	18名
その他の研修	その他の研修		

## 高清水園

区分	研修名	開催日	参加人員(名)
キャリアパス対応研修	初任者コース	11/1～2	3名
	中堅職員コース	6/23～24	5名
	チームリーダーコース	2/16～17	5名
	管理職コース	11/17～18	4名
資格・認定・加算対象研修	相談支援従事者等研修（講師養成）	6/29～7/1. 3/3	1名
	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	7/26. 28	1名
	サービス管理責任者等研修（更新）	9/1～2	7名
	強度行動障害支援者養成研修（実践）	9/5. 9	1名
	サービス管理責任者等研修（基礎）	9/21～22	1名
	サービス管理責任者等研修（基礎）	10/12～13	1名
	サービス管理責任者等研修（実践）	9/5. 9	1名
	精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修	10/31. 11/1	2名
階層別研修	新任職員研修	4/5	12名
	新任職員研修	4/27～28	2名
	新任職員研修	6/29	2名
	中堅職員研修	10/27	3名
分野別研修	ペアレントトレーニング研修	6/4. 18	1名
	相談支援専門員等研修	8/4	4名
	ペアレントトレーニング研修	8/27. 9/3	1名
	栄養管理職員研修	10/4	2名
意識改革研修	権利擁護研修	5/17	12名
	リスクマネジメント研修	6/16	2名
	権利擁護研修	7/6. 8. 11～13	68名
	権利擁護研修	12/9	1名
	権利擁護研修	2/6. 9. 10. 13. 16. 20	81名

一般研修等	福祉サービス・知識・法令関係研修	5/24	6名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	6/15	1名
	救急救命講習	6/21	11名
	その他の研修	7/4	1名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	8/6	6名
	人事労務管理研修	8/4～5	1名
	その他の研修	10/11	1名
	その他の研修	11/25	4名
	その他の研修	11/29	2名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	12/13	9名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	3/7	5名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	3/16	4名
その他の研修	その他の研修		

### 秋田県心身障害者コロニー

区分	研修名	開催日	参加人員(名)
キャリアパス対応研修	初任者コース	11/1, 2	5名
	中堅職員コース	6/23, 24	7名
	チームリーダーコース	2/16, 17	4名
	管理職コース	7/25, 26	1名
資格・認定・加算対象研修	介護職員等によるたん吸引等研修	7/27, 28	1名
階層別研修	新規採用職員研修	4/7	11名
	新規採用職員研修	9/27	12名
	チームリーダー職員研修	6/27	15名
	中堅職員研修	7/21	10名
分野別研修	看護職員研修	9/13	1名
意識改革研修	権利擁護研修	5/31	17名
	コンプライアンス研修	9/20	14名
	権利擁護研修	5/31	全職員
	リスクマネジメント研修	6/16	4名
	その他の研修	7/20	4名
	OJTリーダー研修	10/14	3名
	権利擁護研修	5/17	12名
	権利擁護研修	12/18, 19	3名
一般研修等	福祉サービス・知識・法令関係研修	11/8	12名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	11/11	12名
	感染症対策研修	5/27, 10/19	27名
	救急救命講習	7/13	18名
	メンタルヘルス研修	10/7	17名
	接遇マナー研修	5/26	1名
	その他の研修	6/15	1名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	6/30	1名
	その他の研修	7/12	2名
	その他の研修	7/25～27	2名
	メンタルヘルス研修	7/15	1名
	メンタルヘルス研修	8/23	1名
	その他の研修	1/13	3名
	その他の研修	2/20～3/6	31名
	その他の研修	3/3	3名
その他の研修	その他の研修		

### 由利本荘地域生活支援センター

区分	研修名	開催日	参加人員(名)
資格・認定・加算対象研修	災害派遣福祉チーム員登録基礎研修	6/17	1名
	認定審査員研修	8/5	1名
	サービス管理責任者等研修(更新)	9/2	1名
	災害派遣福祉チームスキルアップ研修	10/31	1名
	サービス管理責任者等研修(実践)	11/17	1名
	災害派遣福祉チームスキルアップ研修	1/19	1名

階層別研修	新任職員研修	4/7	3名	
	新任職員研修	5/23	1名	
	新任職員研修	6/22	1名	
分野別研修	ペアレントトレーニング研修	6/4	1名	
	ペアレントトレーニング研修	8/27	1名	
	相談支援専門員等研修	6/27	3名	
	相談支援専門員等研修	9/30	2名	
	ペアレントトレーニング研修	10/29	1名	
	相談支援専門員等研修	12/16	3名	
意識改革研修	その他の研修	6/23	14名	
	その他の研修	10/19	10名	
	権利擁護研修	2/6	34名	
	リスクマネジメント研修	7/26	1名	
	その他の研修	2/21	16名	
一般研修等	救急救命講習	7/14	6名	
	感染症対策研修	12/8	20名	
	その他の研修	5/26	6名	
	介護支援技術研修	10/18	5名	
	その他の研修	12/1	14名	
	その他の研修	2/28	8名	
	その他の研修	6/16	1名	
	その他の研修	7/2	1名	
	その他の研修	7/21	1名	
	人事労務管理研修	7/27	2名	
	その他の研修	8/8	1名	
	その他の研修	9/9	2名	
	メンタルヘルス研修	9/12	1名	
	その他の研修	10/27	1名	
	その他の研修	10/31	1名	
	その他の研修	11/24	2名	
	その他の研修	11/24	1名	
	その他の研修	11/29	1名	
	後見人制度研修	12/21	1名	
	その他の研修	1/13	1名	
	その他の研修	2/3	3名	
	その他の研修	2/24	2名	
	福祉サービス・知識・法令関係研修	2/28	1名	
	その他の研修	3/16	1名	
	その他の研修	3/29	1名	
	その他の研修	その他の研修		

## 阿桜園

区分	研修名	開催日	参加人員(名)
キャリアパス対応研修	初任者コース	11/1, 2	1名
	中堅職員コース	6/23, 24	2名
	チームリーダーコース	2/16, 17	2名
資格・認定・加算対象研修	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	7/26~28	3名
	強度行動障害支援者養成研修(実践)	9/5, 6, 9	3名
	サービス管理責任者等研修(基礎)	10/12, 13	1名
	サービス管理責任者等研修(更新)	9/1, 2	6名
	相談支援従事者研修(初任者)	8/12~1/27	1名
	相談支援従事者研修(現任)	6/17~12/9	4名
	相談支援従事者研修(主任)	1/3~2/10	1名
	相談支援従事者等研修(講師養成)	7/15	1名
	精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修	10/31, 11/1	1名
	その他の研修	10/27	3名

階層別研修	新規採用職員研修	4/27, 28	2名
	新規採用職員研修	5/18	1名
	新規採用職員研修	10/6	4名
	新規採用職員研修	11/8	2名
	新任職員研修	4/7	11名
	新任職員研修	6/15	1名
分野別研修	相談支援専門員等研修	6/27	3名
	相談支援専門員等研修	12/8~21	1名
	グループホーム世話人等研修	10/20	3名
	看護職員研修	9/13	1名
	調理員研修	11/1	1名
	ペアレントトレーニング研修	6/4, 18	3名
	ペアレントトレーニング研修	8/27, 9/3	1名
その他の研修	10/1, 22	1名	
意識改革研修	権利擁護研修	5/17	6名
	権利擁護研修	5/25	5名
	権利擁護研修	6/9	14名
	権利擁護研修	12/19	2名
	権利擁護研修	1/16~24	111名
	リスクマネジメント研修	12/9	1名
OJTリーダー研修	4/27	1名	
一般研修等	実践発表会	12/16	9名
	救急救命講習	10/11	10名
	育児・介護休業等復帰職員研修	11/8	1名
	感染症対策研修	7/7	81名
	感染症対策研修	12/1	111名
	人事労務管理研修	5/30~6/8	63名
	人事労務管理研修	7/12	1名
	人事労務管理研修	9/15	1名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	6/23	6名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	7/21	6名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	9/9	1名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	9/29	10名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	10/24~28	59名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	10/28	2名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	12/1~14	3名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	12/21	2名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	1/5	64名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	1/26, 27	3名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	1/31	1名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	2/10~12	3名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	2/16~3/2	8名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	3/3	1名
	介護支援技術研修	5/23	84名
	介護支援技術研修	10/19	1名
	後見人制度研修	9/15	1名
	後見人制度研修	12/8	1名
	メンタルヘルス研修	9/12	1名
	メンタルヘルス研修	10/26	111名
	クレーム対応研修	12/9	1名
	クレーム対応研修	2/28	1名
	その他の研修	9/22	8名
	その他の研修	10/15	1名
その他の研修	11/15	1名	
その他の研修	2/8, 9	2名	
その他の研修	その他の研修		

やまばと園

区分	研修名	開催日	参加人員(名)
キャリアパス対応研修	中堅職員コース	2/13	2名
資格・認定・加算対象研修	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	7/26	1名
	強度行動障害支援者養成研修(実践)	9/5	1名
	サービス管理責任者等研修(更新)	9/2	2名
	相談支援従事者研修(現任)	6/17	1名
	相談支援従事者研修(主任)	10/17	1名
	医療的ケア児等コーディネーター養成研修	10/1	1名
	災害派遣福祉チームスキルアップ研修	11/4	2名
	災害派遣福祉チーム員登録基礎研修	10/31	2名
階層別研修	新任職員研修	4/5	10名
	その他の研修		15名程度
	キャリアパス中堅職員研修	6/23	1名
	チームリーダー研修	12/6	1名
分野別研修	グループホーム世話人等研修	10/20	1名
	その他の研修		支援課全職員
意識改革研修	コンプライアンス研修	7/19	支援課全職員
	権利擁護研修	12/1	
	権利擁護研修	1/18	全職員
一般研修等	救急救命講習	6/23	10名程度
	接遇マナー研修	5/26	支援課全員
	感染症対策研修	6/30	20名程度
	介護支援技術研修	10/17	寮職員全員
	メンタルヘルス研修	7/15	1名
その他の研修	その他の研修		

障害者支援センター御所野

区分	研修名	開催日	参加人員(名)
キャリアパス対応研修	初任者コース	11/1.2	1名
	中堅職員コース	6/23.24	3名
	チームリーダーコース	2/16.17	2名
資格・認定・加算対象研修	相談支援従事者研修(初任者)	9/26	1名
	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	7月26	1名
	強度行動障害支援者養成研修(実践)	9/5	1名
	相談支援従事者研修(初任者)	11/21~25	1名
階層別研修	新任職員研修	4/27.28	1名
	中堅職員研修	10/27	1名
分野別研修	その他の研修	10/4	1名
意識改革研修	リスクマネジメント研修	12/9	1名
	コンプライアンス研修	10/11~14	25名
	権利擁護研修	12/6.19	1名
	権利擁護研修	2/1.2/8	23名
	その他の研修	9/12~16	20名

一般研修等	その他の研修	10/14	1名
	実践発表会	12/16	6名
	救急救命講習	1/18	5名
	感染症対策研修	7/6	10名
	感染症対策研修	8/10	10名
	感染症対策研修	9/7	6名
	介護支援技術研修	9/1/. 18	1名
	介護支援技術研修	11/2	11名
	介護支援技術研修	11/9	19名
	介護支援技術研修	2/15	5名
	その他の研修	3/8	1名
	介護支援技術研修	7/20	9名
	その他の研修	2/15	5名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	10/27. 11/16	1名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	11/29	3名
	福祉サービス・知識・法令関係研修	2/16	3名
	メンタルヘルス研修	9/12	1名
	その他の研修	7/20	1名
	その他の研修	デジタル技術導入セミナー	12/21

### 秋田県点字図書館

区分	研修名	開催日	参加人員(名)
階層別研修	管理職研修	6/16	1名
分野別研修	その他の研修	10/19	2名
	その他の研修	11/29	1名
意識改革研修	権利擁護研修	5/17	2名
その他の研修	音声版「選挙のお知らせ」製作研修	5/20	2名
	オンライン会議等の主催と参加に係るズーム操作研修	5/24	9名
	サピエ研修	7/7	9名
	ホームページ更新研修	7/26	9名
	2022年度全国視覚障害者情報提供施設大会	10/12～10/13	8名

### 秋田県聴覚障害者支援センター

区分	研修名	開催日	参加人員(名)
キャリアパス対応研修	キャリアパス対応生涯研修課程初任者コース	11/1, 2	1名
階層別研修	新任職員研修	5/13	1名
	聴覚障害者関係施設職員および行政職員対象新入職員研修	11/18	1名
分野別研修	第6回手話通訳者研修会(オンライン)	5/14	1名
	盲ろう者向け通訳・介助員養成担当者等研修会	6/9～11	1名
	令和4年度 要約筆記事業研修会	1/29	1名
	令和4年度障害者差別解消に係る相談対応職員研修会	7/29	1名
	令和4年度 手話通訳士専門研修会(オンライン研修)	3/24, 25	1名
意識改革研修	虐待防止研修	5/17	3名
	意思疎通支援者として知っておきたいバリアフリー	8/28	4名
	令和4年度北海道・東北ブロック社会福祉事業団「職員研修Ⅰ」	11/29	2名
	令和4年度北海道・東北ブロック社会福祉事業団「職員研修Ⅱ」	3/2	2名
一般研修等	盲ろう児コミュニケーション教育・支援ガイドの出版記念セミナー(オンライン)	6/26	3名
その他の研修	その他の研修		

## 8. 苦情解決処理状況

### (1) 施設別件数

区 分	(職員の接遇等) サービスの内容	(サービスの質・量) サービスの内容	説明・情報提供	施設・設備	制度・施策	金 銭	被 害・損 害	権 利 侵 害	そ の 他	計	(継続中の件数) 苦情解決結果
北部老人福祉総合エリア										0	0
中央地区老人福祉総合エリア						2			1	3	0
南部老人福祉総合エリア			1			1			1	3	1
高清水園										0	0
心身障害者コロニー										0	0
由利本荘地域生活支援センター	1	1								2	0
阿桜園										0	0
やまばと園	1	1	1				1	1		5	0
障害者支援センター御所野	1									1	0
点字図書館										0	0
聴覚障害者支援センター										0	0
計	3	2	2	0	0	3	1	1	2	14	1

### (2) 苦情の主な内容

	内容の分類	件数	割合	苦情内容	解 決 策
利用施設	金銭	2	50%	宿泊時のキャンペーンやクーポン割引の説明について	電話での説明時誤認させたことを謝罪し、了承を得た。今後は利用適用になる割引について簡潔、明瞭な説明を心掛けることとする。
障がい施設・老人施設	サービス内容 (職員の接遇等)	3	30%	職員の言動について	本人へ不快な思いをさせたことを謝罪し、体調を心配しての助言だったことを説明し了承を得た。
	サービス内容 (サービスの質と量)	2	20%	利用者への整容などへの対応が不十分であったことについて	新型コロナウイルス感染症の施設内感染が拡大したとはいえ行き届かなかったこと謝罪し、今後本人の状況を丁寧に説明することで了承を得た。
	説明・情報提供	2	20%	会報等における利用者の写真掲載の基準について	第三者委員と話し合いをし、施設外へ配布する会報と施設内へのみ配布する会報への利用者の写真掲載について、基準の再検討を進めることとなった。

### (3) 過去5年間における苦情件数の推移

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
件 数	19	14	29	22	14

#### (4) 苦情解決処理委員会の開催状況

施設名	開催日	出席者人数	会議内容
北部老人福祉総合エリア	令和5年3月10日	・第三者委員2名 ・職員2名	・令和4年度前期苦情解決処理状況 ・顧客満足度調査集計表 ・第三者委員による助言、意見交換 ・令和4年度の事業報告について
中央地区老人福祉総合エリア	令和5年3月16日	・第三者委員2名 ・職員2名	・令和4年度苦情解決処理状況 ・顧客満足度調査 ・お客様からの意見
南部老人福祉総合エリア	令和5年3月14日	・第三者委員2名 ・職員10名	・令和4年度苦情解決報告 ・第三者委員による助言と意見交換
高清水園	令和5年3月24日	・第三者委員2名 ・職員7名	・苦情解決処理状況報告 ・利用者「なんでも相談」実施状況報告 ・第三者委員より講評と助言
心身障害者コロニー	令和5年2月28日	・第三者委員2名 ・職員10名	・苦情処理状況報告は0件 ・苦情となりえる案件を紹介 ・第三者委員より講評と助言
由利本荘地域生活支援センター	令和4年4月19日 令和5年3月6日	・第三者委員2名 ・職員2名 ・第三者委員2名 ・職員7名	・苦情受付した件を相談 ・苦情解決処理状況報告 ・第三者委員からの助言
阿桜園	書面報告	・第三者委員3名	・苦情無しの報告
やまばと園	令和4年10月5日 令和5年3月14日	・第三者委員4名 ・職員9名 ・第三者委員4名 ・職員8名	・苦情受付件数及び苦情処理状況の説明 ・利用者の何でも聞きます会の内容説明
支援センター御所野	令和5年3月9日	・第三者委員2名 ・職員3名	・令和4年度苦情申出・解除状況の報告 ・第三者委員より講評と助言
点字図書館	令和5年3月13日	・第三者委員2名 ・職員2名	・令和4年度苦情解決処理について ・令和4年度顧客満足度調査について ・第三者委員講評
聴覚障害者支援センター	令和5年3月7日	・第三者委員2名 ・職員2名	・令和4年度苦情解決処理について ・第三者委員より講評と助言

## 9. 虐待防止（対策）委員会の開催状況

施設名	開催日等	出席者人数	会議内容
南部老人福祉総合エリア	身体拘束適正化委員会 年4回開催	・職員4～7名	・身体拘束等に係る検討事案の有無について ・各部署の支援状況報告について
	虐待防止対策委員会 年4回開催	・職員4～7名	・令和4年度年間計画について ・標語の掲示について ・虐待防止自己点検の実施 ・虐待防止自己点検結果による検証と取組みについて ・虐待防止研修（要介護施設従事者等における高齢者虐待防止について、ロールプレイ、メンタルヘルス等）について ・横手市高齢者虐待防止マニュアル（令和4年10月1日改定版）について
	虐待防止委員会 令和4年 9月29日 令和5年 3月14日	・第三者委員2名 ・白寿園施設長 ・利用者代表 ・職員6～8名	・令和4年度の取組みについて ・研修の実施状況について ・虐待防止対策委員会の実施状況及び虐待防止責任者会議の内容について ・全国の虐待事例及び県内の状況について ・虐待防止自己点検結果及び2回目の自己点検内容と結果について ・標語について ・意見交換
高清水園	虐待防止対策委員会 年12回実施	・職員10名前後	・虐待防止委員会の年間計画について ・安全確保のための動作制限について ・虐待防止チェックリストについて ・虐待防止研修について ・利用者対象の満足度調査について ・不適切支援について防止策と対応検討
	虐待防止委員会 令和4年10月27日	・第三者委員1名 ・利用者1名 ・職員4名	・不適切支援通報案件について ・虐待防止チェックリスト集計結果報告 ・第三者委員講評
	虐待防止委員会 令和5年 3月24日	・第三者委員2名 ・職員4名	・虐待防止に向けた取組状況の報告 ・第2回虐待防止チェックリスト結果報告 ・利用者アンケート結果の報告 ・第三者委員講評
心身障害者コロニー	虐待防止対策委員会 毎月実施	・職員14名	・基本理念及び施設の運営方針 ・職員の倫理行動基準 ・虐待防止責任者会議報告 ・虐待防止マニュアルの改正要旨 ・虐待防止チェックリストの結果 ・虐待防止チェックリスト実施結果による今後の対応 ・各課より結果と対策 ・動作制限カンファレンス
	虐待防止委員会 令和4年9月16日	・第三者委員2名 ・地域1名 ・利用者2名 ・保護者1名 ・職員12名	・コロニーの現況につて 組織改編、新型コロナウイルス関連 ・第1回虐待防止チェックリスト結果報告 ・虐待防止に関する取組報告 ・委員より講評・助言
	虐待防止委員会 令和5年 2月28日	・第三者委員2名 ・利用者2名 ・保護者1名 ・職員14名	・コロニーの現況につて 組織改編、感染症関連 ・第2回虐待防止チェックリスト結果報告 ・虐待防止に関する取組報告 ・委員より講評・助言

施設名	開催日等	出席者人数	会議内容
由利本荘地域生活支援センター	虐待防止対策委員会 毎月実施	・職員4～7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体拘束の有無について</li> <li>虐待と思われる事項がないか確認と各部署での話題になった件の検証</li> <li>虐待防止チェックリストの実施方法と検証結果周知</li> <li>年間計画実施状況の確認と検証</li> </ul>
	虐待防止委員会 令和4年10月20日 令和5年3月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者委員2名</li> <li>利用者1名</li> <li>保護者1名</li> <li>職員6名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度取組状況について(チェックリスト・虐待防止研修等)</li> <li>虐待防止委員より講評と助言</li> </ul>
阿桜園	虐待防止対策委員会 毎月1回	・職員11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待の疑いによる通報案件について</li> <li>利用者の動作制限について</li> <li>虐待防止チェックリストの実施と結果について</li> </ul>
	臨時虐待防止対策委員会 案件が発生次第計20回実施	・職員4～10名	・利用者の動作制限について
	虐待防止委員会 令和4年9月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者委員1名</li> <li>利用者1名</li> <li>保護者1名</li> <li>職員4名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待事例と虐待防止に向けた取り組みについて</li> <li>虐待防止チェックリストに基づく自己点検結果について</li> </ul>
	虐待防止委員会 令和5年3月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者委員1名</li> <li>利用者1名</li> <li>保護者1名</li> <li>職員5名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待防止に向けた取り組みについて</li> <li>第2回虐待防止チェックリストの結果について</li> <li>身体拘束廃止検討チームの取り組みについて</li> </ul>
やまばと園	虐待防止対策委員会 毎月実施	・職員5～9名	<ul style="list-style-type: none"> <li>各寮の虐待案件の有無の確認</li> <li>各寮の身体拘束案件の有無の確認</li> <li>各寮の動作制限案件や対象者の状況確認</li> <li>虐待防止チェックリスト実施やロールプレイ研修等についての協議など</li> </ul>
	虐待防止委員会 令和4年10月5日 令和5年3月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者委員2名</li> <li>親の会代表委員2名</li> <li>利用者代表1名</li> <li>職員7～8名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待件数報告(0件)</li> <li>虐待防止対策の取組状況報告(虐待防止チェックリスト結果報告、ロールプレイ研修等の研修内容説明、外部の関係機関からの取組状況への評価：虐待防止特別委員会の開催について説明)</li> <li>第三者委員、虐待防止委員からの質疑応答</li> </ul>
支援センター御所野	虐待防止対策委員会 毎月実施	・職員4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の取組について</li> <li>虐待チェックリストについて</li> <li>研修について</li> <li>満足度調査について</li> </ul>
	虐待防止委員会 令和4年9月7日 令和5年3月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者委員2名</li> <li>利用者代表1名</li> <li>身元引受人1名</li> <li>職員4名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待チェックリスト等の取組について</li> <li>質疑応答・意見交換</li> </ul>

## 10. ハイクオリティサービス推進システム

項目	内容
マネジメントレビュー	マネジメントレビューは、理事長からの指示に基づき各施設長がサービス改善に取り組むもので、今年度は下記の3点について実施した。
①身体拘束等の適正化に関する取組の強化について 「緊急やむを得ず身体拘束を行う場合の初動手順」を掲示し、手順に沿った対応が概ねできていた。しかし、事務局から発出された通知文が支援課職員に回覧されておらず、マニュアルの新様式を活用していないという事態も散見された。 ②ハイクオリティサービス推進システムの運用見直しについて マニュアル整備についてある一定の指標を基に整理することができつつある。各施設が事務作業のスリム化、効率化について検討する年度としたが、クラスター対応や支援の煩雑さの中で十分な話し合いの時間が持てず、従来の方法を踏襲する形で運用する施設が多かった。 ③コロナ禍における利用者一人ひとりの特性に応じた対応について 利用者会議での声を活かしたレクリエーションの工夫や、畑のオーナーとなり野菜の栽培や収穫を楽しむ活動等、活動が制限される中でできることを模索する動きを確認することができた。	
自己評価	事業団自己評価基準に基づき、全職員が毎年一回実施し、その結果からサービス改善に向け取り組んだ。
【コロニー】 新型コロナウイルス感染症予防のためレクリエーションの開催方法を工夫し、定期的開催している音楽レクリエーションを、利用者からリクエストを募り、好みの曲を館内放送でラジオDJのようにリクエスト者を紹介しながら曲をかける取組を実施し、利用者から好評を得た。 【障害者支援センター御所野】 利用者満足度調査の結果を自己評価の取り組む課題に挙げ、利用者の立場に立った支援に努めた。	
内部監査	ハイクオリティサービス推進システムに定められた規格類やマニュアルが適切に運用されているかを毎年一回監査し、書類及びヒアリングによる確認を実施した。
内部監査は主任監査員に法人退職者を指名できる制度に改め、法人退職者と事務局職員が監査員となり、監査の視点の平準化を図ることができた。また、施設職員が監査員になることで発生する業務の負担感も排除できた。 ○重大な指摘 1件 ・事務局から発出された複数の通知が回覧されておらず、身体拘束対応マニュアルに沿った対応ができていなかった ○観察事項 19件 ・ケース記録様式の不備 ・通知等の周知不足 ・個別支援計画の作成日の誤認 など	

## 11. 地域密着型サービス外部評価事業

「認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）」は、事業所が提供するサービスの質の向上とサービスを利用する側が事業所を選択する際の情報提供を目的とし、令和3年度から年1回の外部評価の受審か運営推進会議を活用した評価を選択し実施することが義務付けられている。

秋田県社会福祉事業団は、秋田県から外部評価機関としての指定を受け、平成17年から外部評価事業を実施しており、調査員は医療・保健・福祉の実務経験者等30名で構成されている。新型コロナウイルス感染症対策のため、秋田県より令和3年度と4年度はいずれかの年度において1回外部評価を受審すればよいとの通知が発出され、令和4年度は21事業所の評価を実施した。

### 審査委員会

開催日	内容
令和4年6月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症流行状況を鑑み、今年度も書面開催とした</li> <li>・令和3年度地域密着型サービス外部評価事業についての説明</li> <li>・「事業所アンケート」集計結果報告</li> <li>・「家族アンケート」集計結果報告</li> </ul>